

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

平成26年の市長選挙で市長が掲げた項目については、市の事業としてどのように取り組んでいくのかについて検討し、工程表を作成いたしました。なお、この工程表は、平成29年度実績までの進捗状況を整理したものであり、進捗状況等に応じて修正していきます。

【進捗状況(全134項目)】■完了(13項目) ■実施(93項目) ■一部実施(22項目) ■検討・準備(6項目)

※「完了」・・・具体的な取り組みについて完了、「実施」・・・実施している段階、「一部実施」・・・一部を実施(着手含む)している段階、「検討・準備」・・・事前の検討や準備(未着手含む)を行っている段階

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組NO | ●具体的な取組み | 工程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|--|---|------------|------------|----------|---------------------------------------|--|---|--|--|----------------------|----------|-----------------------|-------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| 1 文化の香る松戸駅リニューアル事業で市民の夢を実現 | | | | | | | | | | | | | |
| <p>●松戸駅新ビルを建設 -「常磐線の東京駅乗り入れ」「2020年東京オリンピック」に合わせ周辺都市に負けない松戸駅ビルをJR東日本、新京成電鉄とタイアップして建設します。 ●新駅ビルと連動し伊勢丹、商店会との魅力ある文化・商業施設複合ゾーンに再生 ●東口周辺を文化の香りゾーン -「中央公園プール跡地」「財務省官舎敷地」を利用し、中央図書館建設等を計画し聖徳大学、千葉大、戸定邸と共鳴した文化の香り発信拠点にします。</p> | <p>【基本事務事業】松戸駅周辺を活性化します ●松戸駅周辺地域活性化事業</p> <p>【成果・目標】 市民・事業者・行政などが協働してまちづくりを推進するため、将来ビジョンを共有し、地区が抱える課題や長期的な展望を踏まえた総合的な計画を立て、「にぎわい」と「やすらぎ」を感じるまちづくりを実現する。</p> | 92 | 103 | 1 | ●JRとの協議 新駅ビル建設及びバリアフリー整備事業の早期完成を要請 | 予定 | 鉄道事業者との協議を継続して行う。 | 鉄道事業者との協議を継続して行う。 | バリアフリー整備工事着工 | 駅構内バリアフリー整備工事着工(上半期) | 10 街づくり部 | 街づくり課 | 一部実施 |
| | | | | | 進捗状況 | 資材高騰などの影響により工事が未着手であったことから駅ビル及びバリアフリー整備工事の早期着工を要望した。 | 新駅ビルとバリアフリー整備の施工時期を分けて整備し、バリアフリー整備工事を先行して平成28年度下半期から着手することを確認した。 | JR東日本より、松戸駅改札内のバリアフリー整備工事を優先して実施する旨の回答を得た。 ●駅改良・新駅ビル建設計画の実施について要望を行った。 | 7月にJR東日本による松戸駅改札内のバリアフリー整備工事着工。平成31年度下期までに段階的に供用開始を目指していく。 ●駅改良・新駅ビル建設計画の実施について要望を行った。 | 一部実施 | | | |
| | | | | | 予定 | ●まちづくり基本構想の推進 「松戸駅周辺まちづくり基本構想」を策定し、基本構想に基づいた個別整備メニューの推進を図る。 新拠点ゾーンである相模台地区の整備推進を図る。 | ●基本構想の策定(まちづくり委員会の諮問答申) ●施設配置や建物用途、基盤整備など「基本計画図」の作成及び、事業スキームの検討を行う。 | 新拠点ゾーンの整備推進 | | | | | |
| | | | | | 進捗状況 | ●基本構想について、まちづくり委員会から答申を受けた。 ●「基本計画図」の作成及び事業スキームの検討を行った。 | 新拠点ゾーンの多機能拠点整備に向け、相模台住宅跡地等の国有地の利用方針や取得について、国と協議を行うとともに、導入施設、整備手法等の方向性を検討した。 | 基本構想に即した新拠点ゾーンの整備に向けて、相模台住宅跡地等の国有地の利用方法について、関東財務局と覚書を締結した。 | ●「新拠点ゾーン整備基本構想」を平成30年3月に策定した。 ●昨年度締結した覚書に基づき、国有地取得について協議を重ねた。 | 一部実施 | | | |
| | | | | | 予定 | ●松戸駅周辺の中心市街地活性化の推進 イベントの開催に加え、商業に係る基本調査を実施し、現状を把握した上で、商店会を対象とした講習会を開催する等、中心市街地の活性化を図っていきます。 | イベントの実施・支援 | | ●松戸市商業構造基本調査・商圈調査の実施 ●中心市街地にぎわい創出事業補助金を新設 | ●松戸市商業ビジョンの策定 | | | |
| | | | | | 進捗状況 | 松戸駅西口デッキステージにて、30回のイベントを委託実施し、計約9,000人の集客による賑わいを創出した | 松戸駅西口デッキステージにて23回のイベントを委託実施し、出演者計約1,300人、集客計約7,000人。前年度同様に賑わいを創出した。 | ●松戸駅西口デッキステージにて20回のイベントを委託実施し、出演者計約1,450人、集客計約7,000人。前年度同様に賑わいを創出した。(雨天中止等の影響から減少あり) ●松戸市商業構造基本調査・商圈調査の実施 ●中心市街地にぎわい創出事業補助金を新設 | ●松戸市商業ビジョンを策定 ●松戸駅西口デッキステージにて20回のイベントを委託実施し、出演者計約1,300人、集客計約5,600人。前年度同様に賑わいを創出した。 ●中心市街地にぎわい創出事業補助金の活用実績1件。 事業名:松戸クリスマス音楽祭 内容:松戸駅周辺で60回の音楽コンサートを開催。 集客数:約5,150人。 | 05 経済振興部 | | | 商工振興課 |
| <p>【基本事務事業】学習の場を提供します ●社会教育推進事業 【成果・目標】 図書館整備計画を策定し、計画を推進します</p> | <p>●図書館整備計画の推進</p> | 52 | 63 | 4 | 図書館整備計画(構想)の策定 | 予定 | 図書館整備計画(構想)の策定 | 計画の推進(具体的な整備の検討) | | | 12 生涯学習部 | 社会教育課 図書館 教育企画課 | 一部実施 |
| | | | | | 進捗状況 | 図書館整備計画(構想)原案を策定した。 | 松戸市図書館整備計画を策定した。 | 東松戸地域の地域館については、東松戸まちづくり用地活用事業の複合施設内に開設予定である図書館の基本コンセプトづくりを行った。 また、新拠点ゾーンについては、街づくり課と協議を重ねるとともに、教育委員会内の関係各課と3回打ち合わせを実施した。 | 東松戸まちづくり用地活用事業の図書館部分について、要求水準書を作成した。 また、新拠点ゾーンについては、街づくり課と協議を重ねるとともに、教育委員会内の関係各課と2回打ち合わせを実施した。 | | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組NO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | | | | | | | | | | |
|--|---|---|--|---|---|----------------------------------|-------------------------------|--|---|---|---|-----------------------------------|-------------------------------|--|--|--|---|---|---|-----------------|--------------|-----------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | | | | | | | | | | |
| 2 文化の香りを松戸駅から市内各地へ漂わせましょう | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>●観光スポットへの流れを強化 ・「戸定邸」の魅力アップ企画を推進し、駅からの誘導看板を増加。 ・野菊の墓、矢切りの渡し等松戸の観光スポットの再整備。 ・北小金駅から本土寺の沿道に常設の民家型屋台(食べ処、お土産処等)を誘致。 ・千葉大園芸学部の「フランス庭園」「イタリア庭園」「イギリス庭園」「ロックガーデン」の魅力市内内外にPR。</p> <p>【基本事務事業】歴史的文化資源を活かします ●戸定歴史館管理運営事業 【成果・目標】 戸定邸、戸定歴史館の入館者数を増やします</p> <p>【基本事務事業】松戸駅周辺を活性化します ●松戸駅周辺地域活性化事業 【成果・目標】 松戸駅周辺の中心市街地としての魅力が高まり、多くの人が集まります。</p> <p>【基本事務事業】観光資源を活用します ●文化の香りのする街構築事業 【成果・目標】 主要観光スポット観光客数を増やします</p> <p>【基本事務事業】放置自転車対策をします ●自転車駐車場管理運営事業 【成果・目標】 放置自転車数を減らします</p> | <p>●戸定邸の魅力アップ企画の推進</p> <p>●松戸駅から戸定邸までの来訪者の誘導 ・中央公園、相模台公園、戸定フォーラム予定地及び戸定邸を関連付けた一体的な整備</p> <p>(戸定フォーラム予定地の公園整備) 戸定フォーラム予定地に戸定邸と一体となった公園の整備、公園整備完了時に案内看板等を作成し、戸定邸及び公園の来訪者の増を図る。</p> <p>●千葉大園芸学部の庭園のPR 戸定が丘歴史公園を含めた戸定が丘全体のPRを検討</p> <p>●野菊の墓、矢切の渡しなどの再整備 ・野菊の墓、四季の道、親水公園、野菊苑、野菊の墓の文学碑などの再整備のため関係課と連携を図る ・北総線矢切駅からの来訪者数を向上するための環境整備 ・葛飾区と連携した誘客事業の計画</p> <p>(水陸両用バスの運行、矢切観光拠点整備) ・松戸駅と矢切地区を結ぶ水陸両用バスを運行し、矢切地区に新たな観光拠点を整備することにより、両地区の連携を図り活性化につなげる。</p> <p>●民家型屋台の誘致 (参道駐車場の移設計画について) ・北小金北口の自転車等の利用実態と将来駐輪需要を勘案した代替駐輪場等の整備を行い、北口参道第1駐輪場の移転と同跡地を歩道等に整備する。</p> | <p>59</p> <p>70</p> <p>5</p> <p>92</p> <p>103</p> <p>6</p> <p>103</p> <p>109</p> <p>7</p> <p>120</p> <p>133</p> <p>8</p> <p>9</p> | <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>9</p> | <p>予定</p> <p>・戸定邸庭園の国名勝指定に向け文化庁への意見具申書提出 ・戸定アートプロジェクトの深化</p> | <p>進捗状況</p> <p>・H27.3.10日付け官報告示により国の名勝に指定された。 ・戸定アートプロジェクトとして、「戸定邸落成130年コンサート」を5回開催したほか、「竹あんどん作りワークショップ」等を実施。(入館者数: 44,000人→53,742人 増9,742人)</p> | <p>予定</p> <p>まちづくり基本構想への意見反映</p> | <p>進捗状況</p> <p>まちづくり会議に参加</p> | <p>予定</p> <p>まちづくり基本構想作成(まちづくり委員会の諮問等)</p> | <p>進捗状況</p> <p>基本構想について、まちづくり委員会から答申を受けた。</p> | <p>予定</p> <p>千葉大園芸学部の庭園及び戸定邸庭園などを含めた戸定が丘全体の歴史・文化的な価値をPR</p> | <p>進捗状況</p> <p>シティガイドによる回廊ツアー等、広報まつどや情報誌に掲載し、戸定が丘一体の魅力発信した。</p> | <p>予定</p> <p>まちづくり基本構想への意見の反映</p> | <p>進捗状況</p> <p>まちづくり会議に参加</p> | <p>予定</p> <p>基本構想の策定(まちづくり委員会の諮問等) ・施設配置など「基本計画図」の作成及び事業スキームの検討</p> | <p>進捗状況</p> <p>基本構想について、まちづくり委員会から答申を受けた。 ・矢切観光拠点づくり基本計画(案)を作成し、整備の方向性を定めた。 ・水陸両用バスの斜路・坂路について、国との協議を進め、整備の方向性を定めるとともに、かわまち事業の変更を行った。</p> | <p>予定</p> <p>北小金駅を含む整備計画策定、代替駐輪場等の選定</p> | <p>進捗状況</p> <p>北小金駅を含む整備計画を策定し、代替駐輪場候補地を選定した。</p> | <p>・戸定邸庭園復元工事の実施設計 ・補助金要望</p> <p>・庭園復元の実施設計を委託するとともに、審議会を設置し、具体的内容を審議。(H28.6.3付け答申により決定。) ・増加する海外からの観光客に対応するため、多言語情報提供媒体(8カ国語)やフリーWi-Fi等の整備を行った。(入館者数: 53,742人→61,967人 増8,225人)</p> <p>・戸定邸庭園復元工事の実施設計 ・東屋復元工事の実施設計</p> <p>・戸定邸庭園復元工事を実施 ・東屋復元工事の実施設計を実施 ・戸定アートプロジェクトとして、コンサート、戸定邸ガイドツアーなどを実施。(入館者数58,669人で前年度より3,298人減少。戸定邸庭園復元工事開始による影響と推察される)</p> | <p>・戸定邸庭園復元工事 ・東屋復元工事の実施設計</p> <p>・戸定邸庭園復元工事が完了 ・戸定邸庭園東屋復元工事が完了 ・戸定アートプロジェクトとして、コンサート、講演会、シンポジウムなどを実施。</p> | <p>12 生涯学習部</p> | <p>戸定歴史館</p> | <p>実施</p> |
| | | | | <p>10 街づくり部</p> | <p>街づくり課</p> | <p>一部実施</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>10 街づくり部</p> | <p>公園緑地課</p> | <p>一部実施</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>02 総合政策部 12 生涯学習部</p> | <p>政策推進課 戸定歴史館</p> | <p>実施</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>10 街づくり部</p> | <p>街づくり課</p> | <p>一部実施</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>10 街づくり部</p> | <p>街づくり課</p> | <p>一部実施</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>10 街づくり部</p> | <p>街づくり課</p> | <p>一部実施</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | <p>10 街づくり部</p> | <p>街づくり課 交通政策課</p> | <p>一部実施</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | | |
|--|--|------------|--|-----------|---|-----------------------------------|---|--|---|---|---|----------|----------------|------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | | |
| ●21世紀の森、森のホールの利用度アップ ・正面に「21世紀の森駅」、正面駐車場に商業施設の誘致など。 | 【基本事務事業】公園・緑地を増やします ●総合公園整備事業 (21世紀の森、森のホールの利用度の向上) 【成果・目標】 21世紀の森と広場の来園者数を増やします | 87 | 93 | 10 | ●21世紀の森と広場の魅力づくり | 予定 | 平成26年度から実施しているイベントや協働事業等の事業の継続と新規事業の企画・実施 | | | 開園25周年(平成30年)に向けたイベントの企画・実施や魅力ある施設の検討・整備 | 大型イベント「松戸モリヒロフェスタ」を年3回実施(5・11・3月)、芸術イベント「松戸アートビクニック」(10月)実施 | 10 街づくり部 | 公園緑地課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 平成26年度から実施している「ドンちゃん・グリちゃんの自然展」等イベントや「21世紀の森と広場」ドコモシアター「協働事業等の事業の継続と「感動@21世紀の森と広場」和太鼓の公演」新規事業の企画・実施をした。 | 企画展・音楽会の夜間開催を実施した。 平成28年度に予定しているフードイベントに向け実行委員会方式による「感動@21世紀の森と広場」和太鼓の公演は、7千人の大型イベントとして実施した。 | 「ドンちゃん・グリちゃんの自然展」「21世紀の森と広場」ドコモシアター「和太鼓の公演」、新規フードイベント「松戸モリヒロフェスタ」を実施した。施設整備について、子ども関係、みどり関係などの有識者から参考意見の聴き取りを行った。年間来園者数については、新規イベント実施などの成果によって約5万人増加した。 | 大型イベント「松戸モリヒロフェスタ」を年3回実施(5・11・3月)合計来園者数約9万人、初のアート展「松戸アートビクニック」(10月)を実施した。また、21世紀の森と広場魅力アップ検討業務委託で魅力アップ計画(案)を作成した。 | | | | |
| | 【基本事務事業】輸送力を増強します ●交通利便性向上検討事業 【成果・目標】 21世紀の森への新駅設置を含めて、千駄堀地区の交通利便性向上を検討します | 119 | 131 | 11 | ●21世紀の森への新駅設置 千駄堀地区の都市街地整備の検討 | 予定 | 要望活動 | 庁内プロジェクトを設置し、千駄堀地区における魅力あるまちづくりを検討 | | | | 10 街づくり部 | 街づくり課 交通政策課 | 一部実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 平成26年8月1日 JR本社、JR東京支社へ要望活動を実施した。 | ・JR東日本に対し要望活動を実施した(東京支社:8月26日、本社:9月8日)。 ・庁内プロジェクトを2回開催し、本地域のまちづくりを進めていくにあたり各課の課題・対応策等を抽出し、共有した。 | ・JR東日本に対し要望活動を実施した(千葉支社及び東京支社:9月6日、本社:9月13日)。 ・千駄堀地区の基本構想の素案、都市街地整備、新駅設置に向けて調査を行った。 | ・JR東日本に対し要望活動を実施した(東京支社:10月12日、千葉支社:11月13日、本社:12月15日)。 ・千駄堀地区の基本構想の素案を更に具体的に検証した。また、JR東日本に対し千駄堀地区におけるまちづくりの協力の依頼を行い、回答を受領した。 | | | | |
| | | 12 | ●千駄堀地区の交通利便性の向上 ・新京成八柱駅～常盤平駅間の新駅 ・主要施設までのアクセスの向上 | 予定 | 主要施設までのアクセスの向上を検討 | | 新駅は、常盤平地域の再編を含めて検討 | | | 10 街づくり部 | 街づくり課 都市計画課 交通政策課 | 実施 | | |
| | | | | 進捗状況 | 主要施設までのアクセスの向上を検討した。 平成27年3月16日 松戸新京成バス小金原線(八柱駅～新松戸駅)新設 | 新設路線松戸新京成バス小金原線(八柱駅～新松戸駅)の周知を図った。 | ・新駅設置を新京成電鉄に要望(11月1日)。 ・松戸市立総合医療センターの開院(29.12.27)に伴うバス路線の延伸(松高線)について要望した。 ・中和倉地区周辺のコミュニティバス実証運行について、関係部署等と協議した。 | ・新駅設置を新京成電鉄に要望(10月30日)。 ・平成29年12月16日より、松戸新京成バス松高線の運行が総合医療センターまで延伸した。 ・平成29年12月16日より、松戸市コミュニティバス(ゆめいろバス)の実証運行が、馬橋駅～北松戸駅～総合医療センター間で開始した。 | | | | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | | | | | |
|---|--|------------|------------|----------------------------|---|--|--|--|--|---|--|--|---|----------------|----------|------------------|----|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | | | | | |
| ●文化の香りを市内外へ発信します。 ・出版社とタイアップし松戸版「松戸Walker」の出版。 ・観光スポット、グルメ店、名産品を数多く掲載しPR。 | 【基本事務事業】観光情報を提供します ●観光促進事業 【成果・目標】 様々な観光情報に触れることができます。 | 102 | 108 | 13 | ●出版社とタイアップし、松戸Walkerの出版 観光協会の法人化により協会事業の領域が拡大することから、本市として観光協会と更なる連携強化を図り、特に「売り返しmatsudo」を推進するための支援を行う。 | 予定 | 手続きの整理 | 観光協会への職員派遣に向けた条列等手続きの整理 | 法人化される観光協会への支援策の検討や、第6次実施計画に向けた観光推進計画(観光推進の方針)づくりを行う。 | 一般社団法人化された観光協会への支援策の検討や、松戸駅西口にオープンした観光案内所との連携を図る。 | 05 経済振興部 | 文化観光国際課 | 実施 | | | | |
| | | | | | 進捗状況 | 法人化に向けた手続きを整理した。 | 平成28年3月の観光協会臨時総会にて、協会の法人化が決議されたことを受け、総合政策会議にて法人への職員派遣に関する協議を行った。 | 観光協会が法人化した際の役員、定款等を決定。登記手続きのうち、平成28年10月に一般社団法人として設立。新事務所開設場所を検討。 | 平成29年7月、松戸駅西口に松戸観光案内所を開設。土日祝日の観光案内や、ホームページやSNS等によるイベント、観光情報の発信を行うとともに、様々なメディアへの情報提供を行うなどプロモーションを展開する観光協会を支援した。 | | | | | | | | |
| | | | | 14 | ●観光スポット、グルメ店、名産品のPR 観光協会の法人化により協会事業の領域が拡大することから、本市として観光協会と更なる連携強化を図り、特に「売り返しmatsudo」を推進するための支援を行う。 | 予定 | 手続きの整理 | 観光協会への職員派遣に向けた条列等手続きの整理 | 法人化される観光協会への支援策の検討や、第6次実施計画に向けた観光推進計画(観光推進の方針)づくりを行う。 | 一般社団法人化された観光協会への支援策の検討や、松戸駅西口にオープンした観光案内所との連携を図る。 | 05 経済振興部 | 文化観光国際課 | 一部実施 | | | | |
| | | | | | 進捗状況 | 法人化に向けた手続きを整理した。 | 平成28年3月の観光協会臨時総会にて、協会の法人化が決議されたことを受け、総合政策会議にて法人への職員派遣に関する協議を行った。 | 観光協会が法人化した際の役員、定款等を決定。登記手続きのうち、平成28年10月に一般社団法人として設立。新事務所開設地を検討。 | 推奨品のPRや本市の特徴あるコンテンツである「ラーメン・つけ麺の街」として、新たなプロモーション活動を展開している観光協会の活動について本市もSNS等を活用し、PRを行った。 | | | | | | | | |
| | | | | ●「ホテル」誘致の推進 シティホテル条例の復活 | 【基本事務事業】工業等の活性化を支援します ●企業誘致事業 【成果・目標】 宿泊施設や商業施設の誘致を図ります | 96 | 101 | 15 | ●「ホテル」誘致の推進 シティホテル条例の復活 | 予定 | 企業立地促進補助金による支援誘致活動の実施 | | | ホテル等立地促進補助金を新設 | 05 経済振興部 | 商工振興課 企業立地担当室 | 実施 |
| | | | | | | | | | 進捗状況 | 企業立地促進補助金による支援措置を講じるとともに、産業振興アドバイザーを中心にニーズ調査、ホテル事業者・地権者との交渉を実施した。 | 企業立地促進補助金による支援措置を講じるとともに、産業振興アドバイザーを中心に、ニーズ調査に基づき、ホテル事業者・地権者との交渉を実施した。 | 企業立地促進補助金による支援措置を講じるとともに、産業振興アドバイザーを中心に、ニーズ調査に基づき、ホテル事業者・地権者との交渉を実施した。 | ホテル等立地促進補助金を新設し、産業振興アドバイザーを中心に、ホテル事業者との交渉を実施した。 | | | | |
| ●松戸市民の心の中の恵顧、「ホテル」「複合型ショッピングモール」の誘致を推進します。 | 【基本事務事業】工業等の活性化を支援します ●企業誘致事業 【成果・目標】 宿泊施設や商業施設の誘致を図ります | 96 | 101 | 16 | ●「複合型ショッピングモール」誘致の推進 | 予定 | 企業立地促進補助金による支援誘致活動の実施 | | | | 05 経済振興部 | 商工振興課 企業立地担当室 | 実施 | | | | |
| | | | | | 進捗状況 | 企業立地促進補助金による支援措置を講じるとともに、産業振興アドバイザーを中心に情報収集中である。 | 企業立地促進補助金による支援措置を講じるとともに、産業振興アドバイザーを中心に情報収集中である。 | 企業立地促進補助金による支援措置を講じるとともに、産業振興アドバイザーを中心に情報収集中である。 | 企業立地促進補助金による支援措置を講じるとともに、産業振興アドバイザーを中心に情報収集中である。 | | | | | | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | | |
|--|--|------------|------------|-----------------------------------|--|--|---|--|--|--|---|----------|------------------------|-------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | | |
| 3 文化の香りは「夢」から生まれます | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>●市役所内に市民の夢の実現をお手伝いする為に「夢・窓口」を設置します。 ・グループの夢:同じ夢をもつ人たちが夢と実現のための計画書を作成し市の「夢・窓口」に提出します。市では夢登録番号を付与し、保管します。年に一度審査し優秀グループを表彰します。 ・地域の夢:複数の町内会が、地域協議会を設立します。そこで、地域の夢と実現のための設計書を作成し、市の「夢・窓口」へ提出します。市では夢登録番号を付与し、保管します。年に一度審査し優秀グループを表彰します。 ・事業の夢:起業や、事業拡大を目指す事業者が事業計画書を作成し、市の「夢・窓口」に提出します。市等関係者に審査し、採用された事業について、市をはじめ関係者で支援する仕組みを作ります。 ●職員の夢も、同時に登録していきます。共有し合う夢を、整理統合し夢実現の為に「同時多元組織」をつくりまします。 ●夢を既に実現させた市民や団体、支援対象となった市民や団体を「松戸のドリーマー」としてPRしていきます ・ドリーマーと一緒に会したセッションを開催します。 ・活動状況をYOUTUBEにアップしていきます。 ・広報まつどに松戸のドリーマー欄を設けます。</p> | <p>【基本事務事業】基本的な職務の遂行方法を定義します ●組織・機構整備事業 【成果・目標】本市の組織が環境の変化に対応する持続可能な組織となり、都市ブランドの向上につながる質の高い市民サービスの提供と健全な行財政運営を両立することをめざします。</p> | — | — | 17 | <p>●制度の創設 ●「夢・窓口」の設置 10年後のめざしたい未来像としての「自分たちのまちは自分たちでつくる元気な街」を実現化を目指して組織・機構を整備していく。</p> | <p>組織・機構の整備</p> | | | | | 01 総務部 | 行政経営課 | 実施 | |
| | <p>【基本事務事業】総合計画を策定します ●後期基本計画進行管理事業 【成果・目標】戦略的な実施計画が策定されます</p> | 129 | 143 | | <p>●夢窓口事業の総合調整</p> | <p>市民の夢や希望をサポートできる「松戸市民の役に立つ人のいるところ」として、市民サービスの向上を常にめざす体制づくりを検討した。</p> | <p>体制づくりを所管する課を検討した。 平成28年度以降は政策推進課で実施する。</p> | <p>各個別の事業に「夢窓口」の冠を付けるなどして、一体的に事業を政策推進課で実施した。</p> | <p>各個別の事業に「夢窓口」の冠を付けるなどして、一体的に事業を政策推進課で実施した。</p> | | | | | |
| | <p>【基本事務事業】社会・経済環境や市内部の情報を収集し、分析します ●政策検討事業 【成果・目標】提案制度を実施します</p> | — | — | 18 | <p>●職員の夢の実現</p> | <p>提案制度の実施</p> | | | | | | 01 総務部 | 行政経営課 | 実施 |
| | <p>【基本事務事業】情報提供を推進します ●シティプロモーション推進事業 【成果・目標】松戸市の魅力に気づく人が増えるとともに松戸市に誇りや愛着を持つ市民が増えます</p> | 130 | 144 | | 19 | <p>●松戸ドリーマーのPR(広報まつど、YOUTUBE)</p> | <p>・行財政改革研修会を7月11日に開催した。 ・職員提案制度を実施した。 募集期間:7月11日～8月15日、応募提案数:14件</p> | <p>・行財政改革研修会を7月15日に開催した。 ・職員提案制度を実施した。 募集期間:7月15日～8月7日、応募提案数:22件</p> | <p>・行財政改革研修会を7月19日に開催した。 ・職員提案制度を実施した。 募集期間:7月4日～8月1日、応募提案数:13件</p> | <p>・行財政改革研修会を4月24日に開催した。 ・職員提案制度を実施した。 募集期間:7月3日～7月31日、応募提案数:16件</p> | | | | |
| | <p>【基本事務事業】協働のまちづくりを推進します ●市民活動支援事業 【成果・目標】市民活動を活性化させます</p> | 6 | 5 | 20 | | <p>●市民、グループ・地域の夢の実現</p> | <p>市民活動助成制度により事業費の助成を行う</p> | | | | | | 04 市民部 | 市民自治課 |
| | <p>【基本事務事業】中小企業の経営を支援します ●経営支援事業 【成果・目標】経営相談(起業相談含む)件数を増やします</p> | 95 | 100 | | 21 | <p>●事業者・起業希望者の経営支援</p> | <p>松戸市創業支援事業計画の実施</p> | <p>松戸市創業支援事業計画の推進を図った。 ・まつど創業塾 受講者78人、うち修了者54人、うち証明書発行6件 ・松戸市経営相談 相談件数131件、うち証明書発行1件 ・会議所専門相談 創業相談件数70件</p> | <p>松戸市創業支援事業計画の推進を図った。 ・まつど創業塾 受講者65人、うち修了者41人、うち証明書発行6件 ・松戸市経営相談 相談件数205件、うち証明書発行15件 ・会議所専門相談 創業相談件数72件、うち証明書発行1件</p> | <p>松戸市創業支援事業計画を延長するとともに、計画に創業スクール事業を追加 ・まつど創業塾 受講者50人、うち修了者31人、うち証明書発行7件 ・松戸市経営相談 相談件数267件、うち証明書発行16件 ・会議所専門相談 創業相談件数81件、うち証明書発行1件 ・信用保証協会創業スクール 受講者3人、うち証明書発行1件</p> | <p>松戸市創業支援事業計画の変更(計画期間の延長) ・松戸市経営相談の専門家相談員を拡充</p> | | | |
| <p>【基本事務事業】情報提供を推進します ●シティプロモーション推進事業 【成果・目標】松戸市の魅力に気づく人が増えるとともに松戸市に誇りや愛着を持つ市民が増えます</p> | 130 | 144 | 19 | <p>●松戸ドリーマーのPR(広報まつど、YOUTUBE)</p> | | <p>広報まつどで紹介</p> | <p>広報まつど毎月15日号にコーナー名「スポットライト」として毎月1人の市民を紹介</p> | <p>広報まつど平成27年6月15日号から、コーナー名「スポットライト」を開始し、8人の市民を紹介</p> | <p>広報まつど平成28年12月15日号を除き、各月15日号のコーナー「スポットライト」にて11組12人の市民を紹介</p> | <p>広報まつど平成29年12月15日号を除き、各月15日号のコーナー「スポットライト」にて11組12人の市民を紹介</p> | | 02 総合政策部 | 広報広聴課 シティプロモーション担当室 | 一部実施 |
| <p>【基本事務事業】協働のまちづくりを推進します ●市民活動支援事業 【成果・目標】市民活動を活性化させます</p> | 6 | 5 | | 20 | <p>●市民、グループ・地域の夢の実現</p> | <p>市民活動助成制度により事業費の助成を行う</p> | <p>市民活動団体の実施する事業(8事業)に助成を行った。</p> | <p>市民活動団体の実施する事業8事業に助成を行った。 (スタート助成:7件、ステップアップ助成:1件)</p> | <p>市民活動団体の実施する事業10事業に助成を行った。 (スタート助成:7件、ステップアップ助成:3件)</p> | <p>市民活動団体の実施する事業12事業に助成を行った。 (スタート助成:10件、ステップアップ助成:2件)</p> | | | | |
| <p>【基本事務事業】中小企業の経営を支援します ●経営支援事業 【成果・目標】経営相談(起業相談含む)件数を増やします</p> | 95 | 100 | 21 | | <p>●事業者・起業希望者の経営支援</p> | <p>松戸市創業支援事業計画の実施</p> | <p>松戸市創業支援事業計画の推進を図った。 ・まつど創業塾 受講者78人、うち修了者54人、うち証明書発行6件 ・松戸市経営相談 相談件数131件、うち証明書発行1件 ・会議所専門相談 創業相談件数70件</p> | <p>松戸市創業支援事業計画の推進を図った。 ・まつど創業塾 受講者65人、うち修了者41人、うち証明書発行6件 ・松戸市経営相談 相談件数205件、うち証明書発行15件 ・会議所専門相談 創業相談件数72件、うち証明書発行1件</p> | <p>松戸市創業支援事業計画を延長するとともに、計画に創業スクール事業を追加 ・まつど創業塾 受講者50人、うち修了者31人、うち証明書発行7件 ・松戸市経営相談 相談件数267件、うち証明書発行16件 ・会議所専門相談 創業相談件数81件、うち証明書発行1件 ・信用保証協会創業スクール 受講者3人、うち証明書発行1件</p> | <p>松戸市創業支援事業計画の変更(計画期間の延長) ・松戸市経営相談の専門家相談員を拡充</p> | | 03 経済振興部 | 商工振興課 | 実施 |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|--|---|------------|------------|-----------|--|------|--|---|---|---|------------|-------|----|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| 4 松戸には既に根付いた文化の香りがあります | | | | | | | | | | | | | |
| ●「すぐやる課」の体制をさらに充実させ、松戸の文化として継承していきます。 | 【基本事務事業】各種要望等を迅速に対応します ●すぐやる対応事業 【成果・目標】 要望処理件数を増やします | — | — | 22 | ●すぐやる課の体制充実(すぐやる課精神の醸成) | 予定 | すぐやる対応事業 市民からの要望処理 | 広範的な業務も多いため、広報 広聴課と連携を図る | | | 02 総合政策部 | すぐやる課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 市民からの要望処理を実施した。 平成26年度要望処理件数 2694件(平成25年2810件) | 市民からの要望処理を実施した。 平成27年度要望処理件数 3051件 | 市民からの要望処理を実施した。 平成28年度要望処理件数 2848件 | 市民からの要望処理を実施した。 平成29年度要望処理件数 2,695件 | | | |
| ●すぐやる課の文化は市役所の他部門にも波及させます。 | 【基本事務事業】人材を管理し、その育成を図ります ●人材育成事業 【成果・目標】 職員のマネジメント能力、対人能力を向上させます | 132 | 145 | 23 | ●主体的に職務に取り組める人材の育成 | 予定 | 研修の実施 | | | | 01 総務部 | 人事課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・プレゼンテーション研修を実施 ・政策形成研修の一環として、管理職を対象に説明力向上研修を実施 ・新規採用職員研修で「すぐやる課の精神」の科目を設けた。 | ・階層別に接遇研修を実施 ・住民説明・提案型プレゼンテーション研修を実施 ・政策形成研修の一環として、管理職を対象にマネジメント研修を実施 ・新規採用職員研修で「すぐやる課の精神」の科目を継続して実施 | ・階層別に接遇研修を実施 ・住民説明・提案型プレゼンテーション研修を実施 ・政策形成研修の一環として、管理職を対象にマネジメント研修を実施 ・新規採用職員研修で「すぐやる課の精神」の科目を継続して実施 | ・階層別に接遇研修を実施 ・住民説明・提案型プレゼンテーション研修を実施 ・政策形成研修の一環として、管理職を対象にマネジメント研修を実施 ・新規採用職員研修で「すぐやる課の精神」の科目を継続して実施 | | | |
| | 【基本事務事業】社会・経済環境や市内部の情報を収集し、分析します ●政策検討事業 【成果・目標】 提案制度を実施します | — | — | 24 | ●職員力の向上と風通しの良い職場風土をつくるため、職員提案制度の募集と併せて、行財政改革研修会を開催します | 予定 | 提案制度の実施 | | | | 01 総務部 | 行政経営課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・行財政改革研修会を7月11日に開催した。 ・職員提案制度を実施した。 募集期間:7月11日～8月15日、応募提案数:14件 | ・行財政改革研修会を7月15日に開催した。 ・職員提案制度を実施した。 募集期間:7月15日～8月7日、応募提案数:22件 | ・行財政改革研修会を7月19日に開催した。 ・職員提案制度を実施した。 募集期間:7月4日～8月1日、応募提案数:13件 | ・行財政改革研修会を4月24日に開催した。 ・職員提案制度を実施した。 募集期間:7月3日～7月31日、応募提案数:16件 | | | |
| 5 市民の数だけ夢がある | | | | | | | | | | | | | |
| 5-(1)ゼロ歳児の夢・「元気な産声」 | | | | | | | | | | | | | |
| ●市立病院を日本トップクラスの周産期医療病院として建設(千駄堀) | 【基本事務事業】病院の建て替えを推進します ●新病院建設事業 【成果・目標】 病院建設事業を進捗させます | 34 | 49 | 25 | ●千駄堀に新病院を建設するにあたり、地域周産期母子医療センターの認定を取得する等、更なる周産期医療の充実を目指す | 予定 | 業者選定 実施設計 | 実施設計完了 建築工事着工 | | 平成29年12月 → 新病院開院予定 | 16 病院事業管理局 | 管財課 | 完了 |
| | | | | | | 進捗状況 | 設計・施工一括での契約を締結し、実施設計を開始した。 | ・平成27年12月に実施設計が完了し、建築工事に着手した。 ・地域周産期母子医療センターの認定取得に向け、千葉県へ要望書を提出し、千葉県周産期医療審議会や県の実地調査の対応を行った。 | ・建設工事については、平成29年12月の開院に向けて順調に進んでおり、平成29年3月末時点の進捗率は、52.9%となっている。 ・平成28年4月1日付けをもって千葉県より千葉県周産期母子医療センター設置・運営要綱に基づき、地域周産期母子医療センターの認定を受けた。 | ・建設工事が9月29日に竣工した。 ・新病院が12月27日に開院した。 | | | |
| ●広報まつどに「今月の松戸の赤ちゃん」コーナーを設け写真を掲載し市民を挙げて祝福 | 【基本事務事業】情報提供を推進します ●広報誌発行事業 【成果・目標】 広報まつどに掲載します | — | — | 26 | ●広報まつどに「今月の松戸の赤ちゃん」コーナーを設け、写真を掲載 | 予定 | ・コーナー内容の検討 ・掲載写真等の募集方法の検討 | 検討結果の紙面反映開始 (コーナー名=幸せアルバム) | | | 02 総合政策部 | 広報広聴課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 毎月6分の1ページ前後のスペースに赤ちゃんの写真を掲載することを検討した。 | 広報まつど平成27年8月1日号から、コーナー名「幸せアルバム」を開始し、27人の赤ちゃんを掲載 | コーナー「幸せアルバム」にて、51人の赤ちゃんを掲載 | コーナー「幸せアルバム」にて、55人の赤ちゃんを掲載 | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|--|---|------------|------------|-----------|-----------------------------|---|---|---|---|--|----------|--------------------------------------|----|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| ●胎児・ゼロ歳児の脳細胞活性化が赤ちゃん未来を決定づけるとも言われています。脳細胞活性化スクールを開校し、赤ちゃんの明るい未来に扉を開きましょう。 | 【基本事務事業】子ども・子育て支援を充実します ●幼児教育振興事業 【成果・目標】 幼・保・小の情報交換会の実施地域数を増やします | — | 40 | 27 | ●幼稚園・保育所(園)・小学校の連携 | 予定 | | 幼・保・小の情報交換会の実施(計6か所) | 幼・保・小の情報交換会の実施(計2地域) | 幼・保・小の情報交換会の実施(計3地域) | 09 子ども部 | 子ども政策課 幼児教育担当室 | 実施 |
| | | | | | 進捗状況 | | 幼・保・小の情報交換会の実施(計2地域、計21施設) | 子ども政策課幼児教育担当室、指導課、幼児保育課の3課にて幼・保・小の情報交換会の実施方法を再検討した。 | 幼・保・小の情報交換会の実施(計3地域、計44施設参加)。庁内関係課による勉強会の開催及び方向性の検討。 | | | | |
| | 【基本事務事業】家庭・地域の教育力を向上させます ●家庭教育力向上事業 【成果・目標】 家庭の教育力が向上します | 予定 | | | 乳幼児家庭教育支援の効果的な施策の研究・検討 | | | 12 生涯学習部 | 生涯学習推進課 | | | | |
| | | 進捗状況 | 54 | | 65 | ・幼児教育に関する講演会を実施した。 平成28年2月27日「脳科学が解き明かす乳幼児期の家庭教育」参加者260名(男性57名、女性203名) ・松戸市版幼児教育パンフレットを制作、配布した。 印刷数50,000部 | ・家庭教育に関する講演会を実施した。 平成29年2月25日「脳を育てて幸せな人生へ脳科学が解き明かす！夢をかなえる秘訣！」参加者263名 ・平成27年度作成した松戸市版幼児家庭教育啓発パンフレットについて、PR映像制作とテレビ放映をした。 ・パンフレット増刷、配布(印刷数6,000部) ・ポスター作成、配布(印刷数400部) | | | ・家庭教育に関する講演会を実施した。平成30年1月20日東北大学教授川島隆太氏「脳を育てて幸せな人生へ脳科学が解き明かす！夢をかなえる秘訣！」参加者181名 ・PR動画をYouTubeに配信 ・パンフレット増刷、配布(印刷数10,000部) ・ポスター作成、配布(印刷数400部) ・幼児家庭教育啓発パンフレットについてのパートナー講座の24箇所で開催。参加者1019名。 | | | |
| 市民の数だけ夢がある 5-(2)保育・幼稚園児の夢・「とびっきりの笑顔」 | | | | | | | | | | | | | |
| ●松戸市の待機児童数は国が定める基準では約90名(H25年4月)、しかしながら実質は約600名です。待機児童実質ゼロを目指しこれまでの諸政策を引き続き実施するとともに新たな政策の実施。 | 【基本事務事業】保育サービスを充実します ●民間保育所関係事業 ●保育サービス多様化促進事業 【成果・目標】 入所保留児童を含めた待機児童ゼロを目指します | 32 | 48 | 28 | ●待機児童実質ゼロに向けた政策の実施 | 予定 | ・民間保育園の新設及び小規模保育事業などの拡充 | | | | 09 子ども部 | 幼児保育課 入所入園担当室 幼児保育課 保育運営担当室 | 実施 |
| | | | | | 進捗状況 | 保育サービスの充実を図った。 認可保育所整備6所(53所⇒59所) 小規模保育事業6所(2所⇒8所) 整備定員747人(認定こども園含む)(5,127⇒5,874人) H27.4待機児童数48人 | ・公立保育所増築5所 ・公立保育所分園1所 ・認可保育所3所(59所⇒62所) ・小規模保育事業所23所(8所⇒31所) 整備定員715人(認定こども園含む)(5,874人⇒6,589人) ・幼稚園預かり保育の拡充(利用料助成開始100人) ・認可外保育施設及び利用者補助(6施設、支給者数延べ121人) H28.4待機児童0人 | ●開設関係 ・認可保育所5所(62所⇒66所) ・小規模保育事業所13所(31所⇒44所) ・公私連携型保育所1所 ・認定こども園1所 ・認定こども園移行2所 ●定員数関係 整備定員815人(認定こども園含む)(6,589人⇒7,404人) ・幼稚園預かり保育の拡充(利用者100人⇒207人) ・認可外保育施設及び利用者補助(5施設、支給者数延べ94人) H29.4国基準での待機児童0人 | ●開設関係 ・認可保育所1か所新設(66所⇒64所) 1か所増築 ・小規模保育事業所18所(44所⇒62所) ・認定こども園移行3所 ●定員数関係 整備定員448人(7,404人⇒7,852人) ・幼稚園預かり保育の拡充(利用者207人⇒300人) ・認可外保育施設及び利用者補助(3施設、支給者数延べ59人) H30.4国基準での待機児童0人 | | | | |
| ●保健師や助産師等が生後4ヶ月、1.5歳、3歳児のいる家庭を訪問し、子育て支援を行います。小学校入学児未検診者に対して全戸訪問を行い、児童虐待等の早期発見に努めます。 | 【基本事務事業】母子健康支援事業を充実します ●乳幼児健康診査事業 【成果・目標】 未受診児への全戸訪問を実施します | 26 | — | 29 | ●1歳6ヶ月、3歳児の健康診査未受診児のいる家庭を訪問 | 予定 | 実施体制を整え家庭訪問を実施。27年度以降は継続 | | | | 09 子ども部 | 子ども家庭相談課 母子保健担当室 | 実施 |
| | | | | | 進捗状況 | 未受診児への全戸訪問を実施した。 1歳6ヶ月健診 449件 3歳健診 566件 | 未受診児への全戸訪問を実施した。 1歳6ヶ月健診 417件 3歳健診 508件 | 未受診児への全戸訪問を実施した。 1歳6ヶ月健診 387件 3歳健診 650件 | 未受診児への全戸訪問を実施した。 1歳6ヶ月健診 415件 3歳健診 506件 | | | | |
| ●保健師や助産師等が生後4ヶ月、1.5歳、3歳児のいる家庭を訪問し、子育て支援を行います。小学校入学児未検診者に対して全戸訪問を行い、児童虐待等の早期発見に努めます。 | 【基本事務事業】健康増進事業を充実する ●家庭訪問事業 【成果・目標】 生後4ヶ月までの乳児の全戸訪問を実施します | — | 32 | 30 | ●生後4ヶ月までの全戸訪問を実施します。 | 予定 | 実施体制を整え家庭訪問を実施。27年度以降は継続 | | | | 09 子ども部 | 子ども家庭相談課 母子保健担当室 | 実施 |
| | | | | | 進捗状況 | 生後4ヶ月までの全戸訪問を実施した。(訪問件数 3821件) | 生後4ヶ月までの全戸訪問を実施した。(訪問件数 3860件) | 生後4ヶ月までの全戸訪問を実施した。(訪問件数 3749件) | 生後4ヶ月までの全戸訪問を実施した。(訪問件数 3797件) | | | | |
| ●保健師や助産師等が生後4ヶ月、1.5歳、3歳児のいる家庭を訪問し、子育て支援を行います。小学校入学児未検診者に対して全戸訪問を行い、児童虐待等の早期発見に努めます。 | 【基本事務事業】豊かな心と体を育てます ●健康管理事業 【成果・目標】 全戸訪問を実施します | — | — | 31 | ●小学校入学児未検診者に対する全戸訪問 | 予定 | 全戸訪問の実施 | | | | 13 学校教育部 | 学務課 | 実施 |
| | | | | | 進捗状況 | 全戸訪問を実施した。(訪問件数 154件) | 全戸訪問を実施した。(訪問件数 199件) | 全戸訪問を実施した。(訪問件数 191件) | 全戸訪問を実施した。(訪問件数 123件) | | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | | |
|--|--|---|------------|----------------|-----------------------------------|---|--|---|---|---|--|----------|------------------|----|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| ●子供にとって大切な遊び場を充実させていきます。 ・公園の遊具やトイレを再整備します。 ・市民センター、図書館内に遊び場を確保していきます。 | 【基本事務事業】子育て支援サービスを充実します ●児童館管理運営事業 【成果・目標】小中高生の地域の活動場所の充実を図ります | 30 | 43 | 32 | ●子どもの遊び場の充実 | 予定 | 新たに利用可能な拠点の候補地について調査・検討 | 居場所づくりの推進協議・検討を継続 | | | 09 子ども部 | 子どもわかもの課 | 実施 | |
| | | | | | | 進捗状況 | 子どもの遊び場の拡充に関しては、調査・検討を実施した。今後も継続して調査・検討する。 | 農園こどもの遊び場1ヶ所冒険こどもの遊び場1ヶ所を実施した。 | 農園こどもの遊び場1ヶ所冒険こどもの遊び場1ヶ所を実施した。 | 農園こどもの遊び場1ヶ所を実施した。 | | | | |
| | | 86 | 94 | 33 | ●公園の遊具やトイレの整備 市内各地域を代表する公園の再整備 | 予定 | ・小金地区公園再整備計画策定(小金公園、浅間公園) | ・馬橋・明地区公園再整備計画策定(八ヶ崎公園、とのやま公園、旭ヶ丘第3公園、南花島公園) ・常盤平地区公園再整備工事(金ヶ作公園) | ・松戸地区公園再整備基本計画策定(松戸中央公園) ・小金地区公園再整備工事(小金公園) | ・松戸地区公園再整備基本計画策定(松戸中央公園) ・小金地区公園再整備工事(小金公園、浅間公園) | | 11 街づくり部 | 公園緑地課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・小金地区公園再整備計画(小金公園、浅間公園)を策定した。 | ・馬橋・明地区公園(八ヶ崎公園、とのやま公園、旭ヶ丘第3公園、南花島公園)再整備計画を策定した。 ・金ヶ作公園再整備工事を実施した。 | ・小金公園再整備工事を実施した。 | ・松戸中央公園の基本計画検討調査を実施した。 ・浅間公園再整備工事を実施した。 | | | | |
| | 1 | 1 | 34 | ●市民センターに遊び場の確保 | 予定 | ・市民センター条例(設置目的)との整合性を検証する。 ・子ども部との協議 | 協議・検討 キッズプレイルームの設置(東部市民センター) | キッズプレイルームの設置(新松戸市民センター) | | | 04 市民部 | 市民自治課 | 実施 | |
| | | | | | 進捗状況 | 設置方法や設置スペースについて協議・検討を行った。 | キッズプレイルームの設置(東部市民センター) | キッズプレイルームの設置(新松戸市民センター) | キッズプレイルームについて協議・検討を行っていた箇所については平成28年度に設置完了済み。 | | | | | |
| | 52 | 63 | 35 | ●図書館内に遊び場の確保 | 予定 | 実施に向け協議 | 利用者の多くが乳幼児や児童である、子ども読書推進センター内に設置予定 | 平成28年度に、「新松戸分館こどものとよかん」を新たに開設予定 | 東松戸まちづくり用地活用事業の複合施設内に開設予定である図書館に、乳幼児・児童・学生向けのスペースを確保するため、建設に係る図書館部分の要求水準書を作成し、関係部署と協議する | | 12 生涯学習部 | 図書館 | 実施 | |
| | | | | | 進捗状況 | 協議の結果、「子ども達が本に親しみつつ、のびのびと過ごせるようなスペース」を設置することを決定 | 子ども読書推進センター2F図書室の一角に、10人程度が座って本に親しみ、のびのびと過ごせるような空間を確保した。 | 平成28年度4月に整備した新松戸分館こどものとよかん内に、子どもたちが座って本に親しみ、のびのびと過ごせる空間を確保した。 | 東松戸まちづくり用地活用事業(図書館部分)の要求水準書に、子どもが気軽に訪れ、本を読むことができる空間を整備する旨を記載するとともに、関係部署と協議を行った。 | | | | | |
| | ●保育所の耐震化工事を平成27年度に前倒し推進していきます。 | 【基本事務事業】保育所サービスを充実します ●市立保育所関係事業 【成果・目標】耐震基準を満たす保育所を増やします | 31 | — | 36 | ●保育所耐震化工事の前倒しを推進 | 予定 | ①コアア保育所:耐震計画の推進 ②北松戸保育所:耐震計画の推進 | ①仮設保育所建設、使用開始(コアア保育所) ②仮設保育所建設、使用開始(北松戸保育所) | ①仮設保育所使用開始 既存保育所耐震改修工事(コアア保育所) ②既存保育所解体、新築工事(北松戸保育所) | | 09 子ども部 | 幼児保育課 保育運営担当室 | 実施 |
| | | | | | | | 進捗状況 | ①コアア保育所:耐震計画の推進をした。 ②北松戸保育所:耐震計画の推進をした。 | ①H28年3月から使用開始(コアア保育所) ②H27年11月から使用開始(北松戸保育所) | ①コアア保育所(仮設使用・本設耐震改修工事)H29.10月竣工予定) ②北松戸保育所(仮設使用・既存保育所解体、新築設計)H30.3月竣工予定) | ①コアア保育所(仮設使用・本設耐震改修工事)H29.10月竣工・H29.11.3～5で仮設保育所からの引越し・29.11.6～本設にて保育開始・H30.1.31仮設保育所解体終了) ②北松戸保育所(仮設使用・新築設計)H30.3月竣工・30.3.17、18で仮設保育所からの引越し・H30.3.19～本設にて保育開始・H30.4月末解体終了予定) | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組NO | ●具体的な取組 | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|---|---|------------|------------|----------|--|------|--|---|---|---|----------------------|-----------------------|-------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| 市民の数だけ夢がある 5-(3)小中高生の夢・「末は博士かアスリート」 | | | | | | | | | | | | | |
| ●小中高生の夢・「末は博士かアスリート」 | 【基本事務事業】青少年の自立を支援します ●青少年自立支援事業 【成果・目標】 夢をつかむために努力している子ども達を応援します | — | 44 | 37 | ●こどもの夢の支援 | 予定 | | | 夢をつかむために努力している子ども達を応援する新たな「こどもの夢支援」事業を推進するため、市民から幅広く意見聴取を行う。 | 新たな「こどもの夢支援」を、広く市民にPRし事業の実施を図る。 | 09 子ども部 | 子どもわかもの課 | 一部実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | | | こどもフォーラムを開催し、こども達の夢や希望について話し合った。また、表彰規定を設け、頑張っている子どもの表彰を行い、併せて発表の場を提供した。 | 子ども夢フォーラムを開催し、子ども達のスポーツや文化芸術活動への支援を通じて、夢の実現を応援。各種大会等で優秀な成績をおさめた子どもの表彰を行い、併せて発表の場を提供した。 | | | |
| ●グローバル人材育成の為、小学校5年生からの英語教育をさらに低学年からスタートできるように検討します。 | 【基本事務事業】基礎学力を定着させます ●学習指導事業 【成果・目標】 低学年から英語教育に取り組む学校を増やします。 | 38 | 53 | 38 | ●小学校低学年からの英語教育の拡充 | 予定 | ・情報収集 ・方向性の確認 | ・計画立案 ・カリキュラム、教材開発の検討 ・情報収集 ・方向性の確認 ・研究指定校による先行研究1 | ・小学校低中学年用LATの増員 ・小学校低中学年用教材の配布 ・研究指定校による先行研究2 ・日本人英語インストラクターの増員 | ・新言語活用科プランの構築 ・研究指定校による先行研究3 ・日本人英語インストラクターの増員 | 13 学校教育部 | 指導課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・企業主催の小学校英語に関する研修会に参加した。 ・市作成ICT教材の活用状況の把握した。 ・国の方向性の確認を行った。 | ・人的配置、教材整備を計画 ・小学校1、2年各10個、3、4年各15個のカリキュラムを検討・決定 ・他の自治体の調査、情報収集 ・平成28年度より市内全小学校において1年生からの英語教育の実施を決定 ・研究指定小学校2校による言語活用科英語分野の研究 | ・LAT(言語技術指導員)の増員を図り、市内全小学校の1年生から、月に1回のペースでの英語学習が可能な環境を整備。(1年生は9月からの年間7回、2～6年生は4月からの年間11回の授業が可能) ・独自ICT教材「ハートでENGLISH」を、低中学年用として、音声による活動中心に、1回5分程度の長さに編集。全校にインストール。 ・英語教育モデル校として2小学校を指定し、5・6年生以外での英語学習の実施、英語インストラクター活用効果等の検証。 ・担任とのTTによる授業実践の実現、授業や指導法についての相談受領等、担任による授業実現に向けた支援として、英語インストラクターを創設。10人を13校に配置。 | ・児童生徒にネイティブ英語にふれさせるため、引き続きLAT(言語技術指導員)の配置をおこなった。市内全小学校の1年生から、月に1回のペースでの英語学習が可能な環境を整備。(1年生は9月からの年間7回、2～6年生は4月からの年間11回の授業が可能) ・英語教育モデル校として2小学校を指定し、5・6年生以外での英語学習の実施、英語インストラクター増員をさらに図るため、英語インストラクター1人につき、2校を担当するシステムを開始した。15人を28校に配置。 ・平成32年度に改訂する言語活用科は小学校1年生から中学校3年生を履修対象とする予定。小学校低学年では、音とつづりの規則性を学ぶフォニックスを取り入れるので、先行の研修会として、英語インストラクター対象の「ジョリーフォニックス研修会」を実施。 | | | |
| ●東松戸地区の児童数の増加に対応するため、平成28年4月に(仮称)関台小学校を開校し、中学校の新設の検討に入ります。その際、市立松戸高校との中高一貫についても検討します。 | 【基本事務事業】適正規模適正配置をします ●(仮称)関台小学校新設事業 【成果・目標】 東部地区の小中学校の適正規模適正配置を図り東部小学校の大規模化を解消します。 | 49 | — | 39 | ●平成28年4月開校に向けて、平成26年・27年の2か年の継続事業にて工事を実施 | 予定 | (仮称)関台小学校建設工事等の施工 | → | 平成28年4月 東松戸小学校開校予定 | | 12 生涯学習部 | 教育施設課 学務課 教育企画課 | 完了 |
| | | | | | ●中学校新設の検討 | 進捗状況 | ・10月校舎建築工事に着手した。 ・新設小学校の通学区域については、県道を境に想定される通学区域を学区審議会に承認された。 ・学校名については、学校名検討会議が公募による応募総数59案の中から4案に選定した。 | ・市立松戸高校敷地を利用し、通学路となる歩道の整備を行った。 ・平成28年4月 定例教育委員会会議において、学校名案を「東松戸小学校」と決定した。 ・松戸市立小学校設置条例の一部を改正する条例を制定し、新設小学校の名称及び位置を定めた。 ・3/25工事竣工 | 平成28年4月 東松戸小学校開校 | | | | |
| | | | | | ●市立高校と新設中学校との中高一貫教育の検討 | 予定 | 東部地区の人口動向及び児童・生徒数の推移をみていく | | → | | 12 生涯学習部 13 学校教育部 | 教育企画課 学務課 教育施設課 | 検討・準備 |
| | 【基本事務事業】個を伸ばす高校教育をします ●魅力ある市立高校創り研究事業 【成果・目標】 志願者倍率を増やします | 44 | 58 | 41 | | 進捗状況 | 新設小学校の通学区域を第五中学校の通学区域から河原塚中学校の通学区域に変更することについて学区審議会に承認され、第五中学校の集中化が解消された。中学校の新設については今後の児童・生徒の推計を見ながら考えていく。 | 中学校の新設については、引き続き今後の児童・生徒の推計を見ながら考えていく。 | 中学校の新設については、引き続き今後の児童・生徒の推計を見ながら考えていく。 | 中学校の新設については、引き続き今後の児童・生徒の推計を見ながら考えていく。 | 12 生涯学習部 13 学校教育部 | 教育企画課 学務課 市立高校 | 検討・準備 |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|--|---|------------|------------|--------------------------|----------------|--|---|--|--|---------------------------|----------|-------|----|
| | | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| ●耐震工事を優先していたため遅れていた小中学校の冷房化、トイレの洋式化を進めます。 | 【基本事務事業】施設、設備を整備します ●小学校冷房化事業・中学校冷房化事業 【成果・目標】 全小中学校に冷房を設置します | 48 | — | 42 | ●小中学校の冷房化 | 予定 | H28全校に空調機を設置するため、PFI事業として実施した場合の検証を行うための調査及び支援委託契約を締結 | ●実施方針公表により、4月に第1回現地見学会を実施 ●6月公募公告 ●3月事業契約および事業開始 | 工事施工 | 全小中学校に空調設備の設置が完了し、供用開始した。 | 12 生涯学習部 | 教育施設課 | 完了 |
| | | | | | 進捗状況 | ●導入可能性調査結果により単年度での設置を可能とするPFI事業実現を目指す。 ●3月に第1回選定委員会を開催、同月25日、松戸市立小中学校空調設備整備PFI事業実施方針を公表した | 6月に公募を公告し、10月に事業提案書を受け付ける。12月に優秀提案者を選定して3月に事業契約を締結。 | | | | | | |
| ●千葉大学の協力を得て、市立松戸高校のカリキュラムを見直し、魅力のある市立高校を目指す。 | 【基本事務事業】施設、設備を整備します ●小学校大規模改造耐震改修事業 ●中学校大規模改造耐震改修事業 【成果・目標】学校トイレの洋式化を進めます | 47 | — | 43 | ●学校トイレの洋式化 | 予定 | 耐震化工事に併せて、学校トイレの洋式化を進めます。 | 平成27年度の耐震完了を見据えて、老朽化対策計画の策定準備 | 老朽化対策計画を策定 | → | 12 生涯学習部 | 教育施設課 | 実施 |
| | | | | | 進捗状況 | 耐震工事と併せてトイレの洋式化改修を進めた。 洋式トイレ設置状況 35% | 耐震工事と併せてトイレの洋式化改修を進めた。 洋式トイレ設置状況 43% ●老朽化対策計画策定準備として情報を整理した。 | トイレ改修の基本的な考え方をまとめる 洋式トイレ設置状況 43% | トイレ改修工事(小学校1校)洋式トイレ設置状況 44% | | | | |
| ●千葉大学の協力を得て、市立松戸高校のカリキュラムを見直し、魅力のある市立高校を目指す。 | 【基本事務事業】個を伸ばす高校教育をします ●魅力ある市立高校創り研究事業 【成果・目標】 志願者倍率を増やします | 44 | 58 | 44 | ●魅力ある市立松戸高校づくり | 予定 | 千葉大学との連携についての研究 | 千葉大学との連携が継続的・計画的に実施できるよう検討する。 | → | 13 学校教育部 | 市立高校学務課 | 実施 | |
| | | | | | 進捗状況 | 本校の目指すグローバル教育に千葉大学留学生を活用し、国際理解教育の充実を図った。 | 本校の目指すグローバル教育に千葉大学留学生等を活用し、国際理解教育の充実を図った。 千葉大学 普通科1学年対象(326名) ●留学生との交流講座 ●教授によるグローバル教育講座 東京海洋大学 普通科2学年対象(325名) ●教授によるグローバル体験の講演 ●大学生16名による海外探検プログラムのワークショップ | 本校の目指すグローバル教育に千葉大学留学生等を活用し、国際理解教育の充実を図った。 千葉大学 普通科1学年対象 ●留学生8名との交流講座 東京海洋大学 国際人文科3年生対象 ●大学生2名、生徒4名の6人グループに分かれての質疑応答 ●普通科2学年対象 ●大学教授、学生による異文化やグローバル化の価値観についての講演 | 本校の目指すグローバル教育に千葉大学留学生等を活用し、国際理解教育の充実を図った。 千葉大学 普通科1学年対象 ●留学生8名との交流講座 東京海洋大学 国際人文科3年生対象 ●大学教授1名、大学生2名によるグローバル講演会 筑波大学と連携し、スポーツ科学教育の充実を図った。 筑波大学 全2年生対象 ●大学教授による講演会 | | | | |
| ●松戸市のスポーツ施設は、量、質ともに不足しています。とはいえ、新しい運動公園を作る余裕はありません。ある施設を丁寧にメンテナンスしながら使っていくための修理計画を策定し実行していきます。 ●市民公園野球場施設のフェンス・ネット等を更新します。 ●千駄堀スポーツ公園の第2期(1万6千平米)、第3期工事(駐車場、トイレ等)を検討します。 | 【基本事務事業】スポーツに親しむ環境を整備します ●松戸運動公園管理運営事業 【成果・目標】 スポーツを行っている市民の割合を増やします 運動公園施設利用者数を増やします | 57 | 68 | 45 | ●スポーツ施設整備計画の推進 | 予定 | スポーツ施設整備に関する基本構想(仮)を基に、スポーツ施設改修整備計画を推進 | スポーツ施設改修整備計画(仮)の検討 | → | 12 生涯学習部 | スポーツ課 | 一部実施 | |
| | | | | | 進捗状況 | 公共施設再編整備基本計画の策定開始に伴い、整合性を図るため、基本構想の見直しを行い、新たにスポーツ施設改修整備計画(仮)を検討することとした。 | スポーツ施設改修整備計画の策定に向けた検討を進めた。 | スポーツ施設改修整備計画の策定に向けた検討を進める中で、その前提となる基本方針を定めることとした。 | | | | | |
| | | | | ●松戸運動公園野球場施設のフェンス・ネットの更新 | 予定 | ラバーフェンス工事 | スコアボード改修工事 | トイレ改修その他工事 | グラウンド改修工事 | 12 生涯学習部 | スポーツ課 | 実施 | |
| | | | | | 進捗状況 | ラバーフェンス、バックネット改修工事を完了した。 | スコアボード改修工事を完了した。 | トイレ改修その他工事を完了した。 | グラウンド改修工事(人工芝化)を完了した。 | | | | |
| ●千駄堀スポーツ広場の第2期、第3期工事の検討 | 【基本事務事業】スポーツに親しむ環境を整備します ●千駄堀スポーツ広場管理運営事業 【成果・目標】 計画的な工事を実施します | — | — | 47 | 予定 | 第2期工事 | 第2期工事完了 | 第3期工事の検討 | 第3期工事の検討 | 12 生涯学習部 | スポーツ課 | 一部実施 | |
| | | | | | 進捗状況 | 第2期工事開始 | 第2期工事を完了した。 | 第3期工事の内容を検討した。 | 第3期工事(有料化)に向けた施設整備の在り方を検討した。 | | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|--|---|------------|------------|-----------|--|------|--|---|---|--|----------|-------|----|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| ●いじめ問題、不登校問題等の専門相談員の増員を図ります。 | 【基本事務事業】個のニーズに応じた教育的支援をします ●教育相談事業 【成果・目標】 不登校児童生徒の数を減らします。 | 41 | 56 | 48 | ●いじめ問題、不登校問題等への対策として専門相談員(臨床心理士)を増員して配置 | 予定 | 8名 | 1名増員(9名) | 1名増員(10名) ○当初予定完了 | | 13 学校教育部 | 教育研究所 | 完了 |
| | | | | | | 進捗状況 | 専門相談員(臨床心理士)を8名配置した。 | 本庁対応(受见面談)の人数を1名増員し合計9名とした。 | 専門相談員(臨床心理士)を1名増員して10名とした。 | | | | |
| ●特別支援学級の充実を進めていきます。 | 【基本事務事業】個のニーズに応じた教育的支援をします ●特別支援教育事業 【成果・目標】 特別支援学級及び通級支援教室の設置率を高めます | 42 | 57 | 49 | ●特別支援学級の充実 | 予定 | 知的支援学級(梨香台小)、自閉症・情緒学級(金ヶ作小、大橋小)設置 | 特別支援学級設置のための準備(新設東松戸小学校) | | | 13 学校教育部 | 教育研究所 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 知的支援学級(梨香台小)、自閉症・情緒学級(金ヶ作小、大橋小)を設置した。 | 新設東松戸小学校に、知的障害特別支援学級と言語障害特別支援学級を設置するための準備をした。 | 知的障害特別支援学級(東松戸小)、言語障害通級指導教室(東松戸小)を設置した。 | 自閉症・情緒障害特別支援学級(中学校)設置 | | | |
| 市民の数だけ夢がある 5-(4)大学生の夢・「未来は自ら切り開く」 | | | | | | | | | | | | | |
| ●市役所でのインターンシップ制度を拡大します。 | 【基本事務事業】社会・経済環境や市内部の情報を収集し、分析します ●松戸学官連携推進事業 【成果・目標】 受入可能所属を拡大します | 125 | 138 | 50 | ●市役所でのインターンシップ制度の拡大 | 予定 | 受入可能所属の拡大 | | | | 01 総務部 | 人事課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | インターンシップのこれまでの受入延べ所属は、26所属であったが、平成26年度新たに1所属が増え、延べ27所属となった。 | インターンシップのこれまでの受入延べ所属は、27所属であったが、平成27年度新たに2所属が増え、延べ29所属となった。 | インターンシップのこれまでの受入延べ所属は、29所属であったが、平成28年度新たに1所属が増え、延べ30所属となった。 | インターンシップのこれまでの受入延べ所属は、30所属であったが、平成29年度新たに2所属が増え、延べ32所属となった。 | | | |
| ●大学と企業、大学とボランティア団体との共同ワークを推進します。 | 【基本事務事業】社会・経済環境や市内部の情報を収集し、分析します ●松戸学官連携推進事業 【成果・目標】 産学官の連携事業数を増加させ、地域の活性化につなげます | 125 | 138 | 51 | ●市民サービスの向上や地域経済の活性化を図るため、市内大学との連携を強化します。 -千葉大学、聖徳大学短期大学部がおこなう地(知)の拠点整備事業を推進します。 -産学官連携促進講演会を開催するとともに、地域活性化に資する新規事業の開拓や起業に結び付けるための事例発表会等を企画します。 -本市の地域課題を学生に認識いただき、フィールドワーク等を通じて解決策を検討いただくために、各大学の授業に職員を派遣します。 | 予定 | ・地(知)の拠点シンポジウムの開催(千葉大、聖徳大学連携) ・連携促進講演会の開催 ・地域課題授業への職員派遣 | 連携事業について随時協議を実施 | | | 02 総合政策部 | 政策推進課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・地(知)の拠点シンポジウムを、千葉大、聖徳大学と連携して開催し、連携促進の講演を行った。(1回) ・聖徳大学の地域課題授業へ職員を派遣した。(5名) | ・連携促進講演会を行った。(1回) ・千葉大学や流通経済大学において市長講義を行った。(各1回) ・聖徳大学の地域課題授業へ職員を派遣した。(6名) | ・連携促進講演会を行った。(1回) ・千葉大学、聖徳大学、流通経済大学において市長講義を行った。(各1回) ・聖徳大学の地域課題授業へ職員を派遣した。(5名) | ・連携促進講演会を行った。(1回) ・千葉大学、聖徳大学、流通経済大学において市長講義を行った。(各1回) ・聖徳大学の地域課題授業へ職員を派遣した。(5名) | | | |
| ●松戸で起業を起こしたい学生を支援します。 | 【基本事務事業】中小企業の経営を支援します ●経営支援事業 【成果・目標】 経営相談(起業相談含む)件数を増やします | 95 | 100 | 52 | ●事業者・起業希望者の経営支援 | 予定 | 松戸市創業支援事業計画の実施 | | 松戸市創業支援事業計画の変更(計画期間の延長) | 松戸市経営相談の専門家相談員を拡充 | 05 経済振興部 | 商工振興課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 松戸市創業支援事業計画の推進を図った。 ・まつど創業塾 受講者78人、うち修了者54人、うち証明書発行6件 ・松戸市経営相談 相談件数131件、うち証明書発行1件 ・会議所専門相談 創業相談件数70件 | 松戸市創業支援事業計画の推進を図った。 ・まつど創業塾 受講者65人、うち修了者41人、うち証明書発行6件 ・松戸市経営相談 相談件数205件、うち証明書発行15件 ・会議所専門相談 創業相談件数72件、うち証明書発行1件 | 松戸市創業支援事業計画を延長するとともに、計画に創業スクール事業を追加 ・まつど創業塾 受講者50人、うち修了者31人、うち証明書発行7件 ・松戸市経営相談 相談件数267件、うち証明書発行16件 ・会議所専門相談 創業相談件数81件、うち証明書発行1件 ・信用保証協会創業スクール 受講者3人、うち証明書発行1件 | 松戸市創業支援事業計画の推進を図るとともに、松戸市経営相談の専門家相談員を拡充した。 ・まつど創業塾 受講者57人、うち修了者32人、うち証明書発行6件 ・松戸市経営相談 相談件数281件、うち証明書発行9件 ・会議所専門相談 創業相談件数82件、うち証明書発行10件 ・信用保証協会創業スクール 受講者2人、うち証明書発行0件 | | | |
| ●就職相談会・企業説明会を年4回実施していきます。 | 【基本事務事業】多様な雇用ニーズを支援します ●雇用促進事業 【成果・目標】 若者就労支援事業参加者数を増やします | 104 | 111 | 53 | ●若者個別就職相談の実施(36回/年) ●まつど合同企業説明会の実施(2回/年) | 予定 | 事業の実施 | | まつど合同企業説明会募集企業数47社から78社へ拡充。 | 対象年齢の拡大 | 05 経済振興部 | 商工振興課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・若者個別就職相談を実施した。相談件数59件 ・まつど合同企業説明会を実施した。参加企業43社、参加求職者234名、うち就職者48名 | ・若者個別就職相談を実施した。相談件数51件 ・まつど合同企業説明会を実施した。参加企業47社、参加求職者203名、うち就職者42名 | ・まつど合同企業説明会を実施した。参加企業76社、参加求職者224名、うち就職者35名 | ・対象年齢を試験的に39歳まで→45歳までに拡大 ・まつど合同企業説明会を実施した。参加企業78社、参加求職者241名、うち就職者34名 | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取り組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|---|---|------------|------------|-----------|------------------------|---------------|--|---|---|---|----------|---------|-------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| 市民の数だけ夢がある 5-(5)婚活世代の夢・「ステキなパートナーをゲット」 | | | | | | | | | | | | | |
| ●NPO・商店と共同し、婚活パーティをサポートしていきます。 | 【基本事務事業】青少年の自主活動、社会参加活動を促進します ●青少年会館学習機会提供事業 【成果・目標】 婚活のアドバイスを受け、出会い・仲間づくりに、積極的になる | 55 | 67 | 54 | ●出会い、仲間づくりにつなげる婚活講座を開催 | 婚活講座の実施 予定 | | | | | 12 生涯学習部 | 生涯学習推進課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 縁結びサポート事業を実施した。 ・平成26年4月20日 第4弾 「おとな婚活」開催 参加者 男性20名、女性20名 ・平成26年8月2日 第5弾 「2014夢花火de出逢わnight!」 開催 参加者 男性19名、女性20名 ・平成26年12月21日 第6弾 「クリスマス直前!matsudo恋物語」 開催 参加者 男性20名、女性18名 | 縁結びサポート事業を実施した。 ・平成27年4月19日 第7弾 「春コン」開催 参加者38名(男性20名、女性18名) ・平成27年8月1日 第8弾 「2015夢花火de出逢わnight!」 開催 参加者34名(男性17名、女性17名) ・平成27年12月19日 第9弾 「Let'sふたりdeクリスマス」他、 「パーソナルカラー講座」、「手打ちうどん講座」、「ボルダリング講座」開催 参加者35名(男性19名、女性16名) 延べ参加者62名 | 縁結びサポート事業を実施した。 ・平成28年4月23日 第10弾 「春コン」開催 参加者40名(男性20名、女性20名) ・平成28年8月6日 第11弾 「2016夢花火de出逢わnight!」 開催 参加者49名(男性25名、女性24名) ・平成28年12月23日 第12弾 「クリスマス直前! Matsudo恋物語」開催 参加者40名(男性20名、女性20名) | 縁結びサポート事業を実施した。 ・平成29年4月22日(土) 第13弾 「春コン」開催 参加者41名(男性20名、女性21名) ・平成29年8月5日(土) 第14弾 「夢花火de出逢わnight」開催 参加者43名(男性21名、女性22名) ・平成30年2月3日(土) 第15弾 「春よ恋へふたりのHappyバレンタイン!」 参加者43名(男性22名、女性21名) | | | |
| ●松戸広報にご結婚おめでとうを掲載します | 【基本事務事業】情報提供を推進します ●広報誌誌地行事業 【成果・目標】 広報まつどに掲載します | — | — | 55 | ●成婚を広報でお祝い | 予定 | ・コーナー内容の検討 ・掲載写真等の募集方法の検討 | 検討結果の紙面反映開始 (コーナー名＝幸せアルバム) | | | 02 総合政策部 | 広報広聴課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 毎月6分の1ページ前後のスペースに新婚カップルの写真を掲載することを検討した。 | 広報まつど平成27年8月15日号から、コーナー名「幸せアルバム」を開始し、8組の新婚カップルを掲載 | コーナー「幸せアルバム」にて、7組の新婚カップルを掲載 | コーナー「幸せアルバム」にて、4組の新婚カップルを掲載 | | | |
| ●新婚生活を松戸で迎える方への家賃補助 | 【基本事務事業】若年者への生活支援事業を充実する ●若年世帯生活支援事業(仮) 【成果・目標】 若年層にある新婚及び子育て世帯の市内定着を促します | — | — | 56 | ●新婚世帯等向け家賃補助制度の検討 | 予定 | 支援制度の検討 | 支援制度の検討 | 支援制度の検討 | 支援制度の検討 | 10 街づくり部 | 住宅政策課 | 検討・準備 |
| | | | | | | 進捗状況 | 支援制度の検討 ・現状と課題の整理を行った。 | 市内定着への費用対効果や先進市の実施状況等を調査し、本市での想定事業を検討した。 | 27年度の調査結果を更に深く検証し、併せて他の支援制度(№.57)も含めて勘案した。 | 平成29年10月25日に施行された住宅セーフティネット制度(家賃低廉化事業等)を新たに検討した。 | | | |
| ●親子孫3世代が松戸で生活できるように住宅補助を行います。 | 【基本事務事業】広い住宅の取得を支援します ●住宅支援事業 【成果・目標】 子育てをサポートできる体制や共助の関係を築ける世帯の充実を図るとともに、若年世代の市内定着を促します | — | 120 | 57 | ●親元近居・同居住宅取得補助制度の検討 | 予定 | 支援制度の検討 | 支援制度の検討 | 支援の実施 | 支援の実施と支援の評価 | 10 街づくり部 | 住宅政策課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 支援制度の検討 ・現状と課題の整理を行った。 | 支援制度の整備を行った。 (松戸市子育て世帯親元近居・同居住宅取得補助金交付要綱策定) | ・支援制度の実施(申請件数190件・補助件数102件) 市内近居57件 市内同居7件 市内近居33件 市外同居5件 ・「松戸市子育て世帯親元近居・同居住宅取得補助金交付規則」策定した。 ・制度を利用する申請者に対してアンケート調査を実施した。 | ・支援制度を実施した。(事前相談件数226件・補助件数149件) 市内近居101件 市内同居10件 市外近居 35件 市外同居 3件 ・住宅金融支援機構と協定を締結し、支援の拡充を図った。 ・政策評価(事後アンケート調査)を実施し、実績をまとめた。 | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル |
|---|--|---|------------|-----------|---|---|---|---|---------------------------------|----------|-------|-------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | |
| 市民の数だけ夢がある 5-(6)働き世代の夢・「家族の幸せの為に頑張る」 | | | | | | | | | | | | |
| ●通勤・交通アクセス改善を行います ・外環道路の早期開通を推進します ・JR常磐線の東京駅乗り入れ時、松戸駅停車に全力を投入します。 ・千代田線の増発、綾瀬止まりの小田急線の特急の延伸を強く推進します。 ・東松戸駅にスカイライナー停車を推進し成田、東京駅までの時間短縮に努めます。 ・松戸駅から新京成を經由して成田駅までの直通運転を強く推進します | 【基本事務事業】輸送力を増強します ●広域幹線道路整備促進事業 【成果・目標】 外環の早期開通に向け要望活動を実施します | — | 129 | 58 | ●外環の早期開通の推進 国土交通省や財務省及び地元選出国会議員などに対し要望活動を実施し、外環の早期供用に向けて働きかけていきます。 | 要望活動の実施 (供用予定) | | | | 10 街づくり部 | 都市計画課 | 実施 |
| | | | | | | 予定 進捗状況 要望活動を実施した。(1回) | 要望活動を実施した。(1回) | 要望活動を実施した。(1回) | 要望活動を実施した。(1回) (H30.6月 供用予定) | | | |
| | 【基本事務事業】輸送力を増強します ●鉄道輸送力増強要請事業 【成果・目標】 鉄道の混雑率(緩行電車)を緩和します 鉄道の混雑率(快速電車)を緩和します | — | — | — | ●JR常磐線の東京駅乗り入れに伴う特急の松戸駅停車 ●千代田線の増発 ●JR常磐線の東京駅乗り入れの要望 | 要望活動 | | | | 10 街づくり部 | 交通政策課 | 実施 |
| | | | | | | 予定 進捗状況 ・平成26年8月1日 JR本社、JR東京支社へ要望活動を実施した。 ・平成27年3月14日 上野東京ラインが開業し、JR常磐線が東京駅・品川駅へ乗り入れ開始 | ・JR東日本に対し要望活動を実施した(東京支社:8月26日、本社:9月8日)。 ・12月2日に、市長と葛飾区長が、JR副社長に要望書提出。 ・要望書2回提出。 ・常磐線緩行線が松戸駅＝我孫子駅間で1往復の増便 | ・JR東日本に対し要望活動を実施した(東京支社:9月6日及び3月17日、本社:9月13日)。 ・JR東日本に対し要望活動を実施した(東京支社:10月12日及び3月23日、千葉支社:11月13日、本社:12月15日)。 ・10月14日ダイヤ改正で、上野東京ラインが、上下線合計で13本増発予定 | | | | |
| | | | | | | 予定 進捗状況 ●小田急線の延伸の推進 | 検討 要望活動 | | | | | |
| | | | | | | 検討 進捗状況 ・3月26日ダイヤ改正により、小田急線が常磐線へ乗り入れ開始 ・JR東日本に対し要望活動を実施した(東京支社:8月26日、本社:9月8日)。 ・12月2日に、市長と葛飾区長が、JR副社長に要望書提出 | ・JR東日本に対し要望活動を実施した(東京支社:9月6日及び3月17日、本社:9月13日)。 ・JR東日本に対し要望活動を実施した(東京支社:10月12日及び3月23日、千葉支社:11月13日、本社:12月15日)。 ・3月17日ダイヤ改正で、常磐線・千代田線・小田急線の3線相互直通列車が大幅に増発(上り:38本、下り:32本) | | | | | |
| | | | | | | 予定 進捗状況 ●東松戸一成田、東京間の交通利便性の向上 | 要望活動 | | | | | |
| | | | | | | 検討 進捗状況 ・鉄道事業者との協議を行った。 ・関連自治体からの協力取りつてを図った。 | 京成電鉄に対し、関連自治体と共に、要望活動を実施した(3月24日)。 ・京成電鉄に対し、関連自治体と共に要望活動を実施し、市長が京成常務に要望書提出(3月28日)。 ・11月19日のダイヤ改正により、アクセス特急が上下線各1本増発(1日26本→27本)。 | ・関連自治体に対し、要望活動の実施報告を行った(5月12日)。 | | | | |
| | ●駅前駐輪場を整備し通勤に役立ててもらいます。 ・相模台自転車駐輪場を開設します。 ・秋山駅南口・松戸駅西口公園下・松戸駅西口臨時駐輪場を整備します。 | 【基本事務事業】放置自転車対策をします ●自転車駐輪場管理運営事業 【成果・目標】 放置自転車の台数を減らします | 120 | 133 | ●自転車駐輪場の整備 (仮称)松戸駅東口相模台自転車駐輪場及び、(仮称)秋山駅南口自転車駐輪場の開設 | 整備・供用開始 | 松戸駅東口相模台自転車駐輪場の整備・供用 | | | 10 街づくり部 | 交通政策課 | 完了 |
| | | | | | | 予定 進捗状況 ・松戸駅東口相模台自転車駐輪場を整備した。 平成27年6月供用開始予定 ・秋山駅南口自転車駐輪場は鉄道事業者等が整備した。 | 松戸駅東口相模台自転車駐輪場を整備し、6月1日に供用開始した。 | | | | | |
| | | | | | ●松戸駅西口公園下・松戸駅西口臨時自転車駐輪場の修繕 | 修繕工事 | 松戸駅西口臨時自転車駐輪場の代替駐輪場の検討 | 松戸駅西口臨時自転車駐輪場の代替駐輪場の整備 | | 10 街づくり部 | 交通政策課 | 完了 |
| | | | | | | 予定 進捗状況 松戸駅西口公園下自転車駐輪場の修繕を完了した。 松戸駅西口臨時自転車駐輪場の修繕を検討中。 | 松戸駅西口臨時自転車駐輪場の代替予定地の所有者と交渉した。 | 松戸駅西口臨時自転車駐輪場の代替として、松戸駅西口第5自転車駐輪場(350台程度)を整備した。 (H29.4.1供用開始) | 松戸駅西口第5自転車駐輪場の供用開始(H29.4.1より) | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | | | | | | | |
|--|---|------------|------------|-----------|---------------|------------------|--|--|--|--|---|------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|---|----------|-------|----|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | | | | | | | |
| <p>●松戸の事業者を元気にする政策を打っていきます。</p> <p>・企業誘致基金を増額します。</p> <p>・企業誘致事業のさらなる推進を図るため、松戸市への事業者のみならず、本市における新規事業者及び既存の工場などで再投資を行う事業者も支援(固定資産税の減免、新規雇用の人件費補助)します。</p> <p>・中小企業振興資金利子補給制度(H26)を新設し、千葉県中小企業振興融資及びマル経融資を受けた中小企業に利子補給し経営の安定を図ります。</p> <p>・大規模公共事業の市内本業者への優先発注に取組みます。</p> | <p>【基本事務事業】工業等の活性化を支援します</p> <p>●企業誘致事業</p> <p>【成果・目標】 工業団地へ新たな企業を誘致します</p> | 96 | 101 | 65 | ●企業誘致に係る助成の増額 | 予定 | 国県の動向、企業のニーズを踏まえ判断 | | | | 05 経済振興部 | 商工振興課 企業立地担当室 | 検討・準備 | | | | | | |
| | | | | | | 進捗状況 | 国県の動向について情報収集中である。 | 国県の動向について、引き続き情報収集するとともに、近隣他市と情報交換を行った。 | 国県の動向について、引き続き情報収集するとともに、近隣他市と情報交換を行った。 | 本社の新規立地に対する補助を拡充 | 05 経済振興部 | 商工振興課 企業立地担当室 | 実施 | | | | | | |
| | | | | | | 予定 | 企業立地促進補助金による支援 | | | 再投資型の要件を緩和 | 05 経済振興部 | 商工振興課 企業立地担当室 | 実施 | | | | | | |
| | | | | | | 進捗状況 | 企業立地促進補助金による支援措置を講じた | 企業立地促進補助金による支援措置を講じ、3件の新規工場等が操業を開始した。 | 企業立地促進補助金による支援措置を講じ、2件の新規工場等が操業を開始し、1件の既存工場が増設(再投資)を行った。 | 企業立地促進補助金の再投資型の要件を緩和するなどの支援措置を講じ、1件の新規工場が操業を開始し、1件の既存工場が増設(再投資)を行った。 | 05 経済振興部 | 商工振興課 企業立地担当室 | 実施 | | | | | | |
| | | | | | | 予定 | 事業の実施(実施予定) | | | 利子補給制度を利用しやすくするため、制度を改善。 | 05 経済振興部 | 商工振興課 | 実施 | | | | | | |
| | | | | | | 進捗状況 | 利子補給を行った。 利子補給件数 590件 利子補給額 40,405千円 | 利子補給を行った。 利子補給件数 899件 利子補給額 95,861千円 | 利子補給を行った。 利子補給件数 1,009件 利子補給額 95,991千円 | 一事業者当たり複数融資を補給対象にする等、利子補給制度を改善した。 利子補給件数 1,056件(事業者)、1,829融資 利子補給額 135,673千円 | 05 経済振興部 | 商工振興課 | 実施 | | | | | | |
| | | | | | | 予定 | ●入札・契約制度における適正化を図るため、公共調達あり方について検討します。 | | | | 03 財務部 | 契約課 | 実施 | | | | | | |
| | | | | | | 進捗状況 | 総合評価落札方式を実施した。 実施件数 20件 | 総合評価落札方式を実施した。 実施件数 8件 | 総合評価落札方式を実施した。 実施件数 13件 | 総合評価落札方式を実施した。 実施件数 8件 | 03 財務部 | 契約課 | 実施 | | | | | | |
| | | | | | | ●若者就労支援事業を推進します。 | <p>【基本事務事業】多様な雇用ニーズを支援します</p> <p>●雇用促進事業</p> <p>【成果・目標】 若者就労支援事業参加者数を増やします</p> | 104 | 111 | 69 | ●若者就労支援事業の推進 (1)個別就職相談 (2)職業能力向上研修 (3)就職セミナー (4)まつど合同企業説明会 (5)職業訓練講座受講料助成金支給制度 (6)まつど地域若者サポートステーション | 予定 | 事業の実施 | | | | 05 経済振興部 | 商工振興課 | 実施 |
| | | | | | | | | | | | | 進捗状況 | 若者就労支援事業を推進した。 参加求職者315名、うち就職者76名 | 若者就労支援事業を推進した。 参加求職者294名、うち就職者71名 | 若者就労支援事業を推進した。 参加求職者427名、うち就職者171名 | (2)職業能力向上研修について、2講座から3講座へ拡充 (4)まつど合同企業説明会について、募集企業数47社から78社へ拡充 (6)まつど地域若者サポートステーションの開設場所を利便性の高い松戸駅近隣にある商工会議所別館に移転 | 05 経済振興部 | 商工振興課 | 実施 |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル |
|---|---|---|-------------------------------|---|--|--|---|--|---|----------|-----|-------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | |
| <p>●農業を新たな産業の柱に捉えた政策を推進します。</p> <p>・中核となる農業者への利権設定の推進と、経営の新規参入を図ります。</p> <p>・農商工連携事業を推進し農産物に付加価値を付けて販売できるように支援します。(異業種交流と補助金)</p> <p>・農業後継者の育成、配偶者創出支援、体験型農園、新規就農者創出を支援します。</p> | <p>【基本事務事業】農業の生産性を向上させます</p> <p>●農業経営基盤強化事業</p> <p>【成果・目標】</p> <p>1.経営体あたりの経営耕地面積を増やします</p> | 98 | 104,105 | 70 | ●農業者への利権設定の推進 | 各事業の実施(実施予定) | | | | 05 経済振興部 | 農政課 | 実施 |
| | | | | | ●新規就農者創出の支援 | | | | | | | |
| | | | | | ●農業法人化の支援 | | | | | | | |
| | | | | | 進捗状況 | ・農業者への利権設定の推進を図った。43件 ・新規就農者の創出を支援した。6件(親元就農) ・農業法人化の支援 0件 | ・農業者への利権設定の推進を図った。15件 ・新規就農者の創出を支援した。3件(親元就農) ・農業法人化の支援 0件 | ・農業者への利権設定の推進を図った。13件 ・新規就農者の創出を支援した。2件(親元就農2件) ・農業法人化の支援 0件 | ・農業者への利権設定の推進を図った。24件 ・新規就農者の創出を支援した。2件(雇用就農1件、新規参入1件) ・農業法人化の支援 0件 | | | |
| | | | | | 予定 | | | | | | | |
| | | | | | 進捗状況 | | | | | | | |
| | 71 | ●農業後継者の育成 | 農業後継者の育成 | | | | | 05 経済振興部 | 農政課 | 実施 | | |
| | | (1)農事研究会、農業青少年クラブの支援 (2)配偶者創出支援(婚活イベントの実施) | | | | | | | | | | |
| | 72 | ●農商工連携事業の推進 | 意見交換会・講演会・マッチングイベント等の実施(実施予定) | | | | | 05 経済振興部 | 農政課 | 実施 | | |
| | | | 進捗状況 | 意見交換会等を実施した。 ・意見交換会(農家、一般市民) 43名出席 ・説明・対論(商業者) 15名出席 ・現状視察(JA、農家、青年会議所) 12名出席 ・討論会(JA、農家、青年会議所) 11名出席 | 講演会を開催した 31名出席 ・農家視察を実施した 31名出席 | 先進農家視察を実施した 34名出席 ・野菜工場視察を実施した 31名出席 | 講演会を開催した 55名出席 ・農機具、種苗会社の視察を企画したが、降雪のため中止した。 ※参加予定人数 28名 | | | | | |
| | 73 | ●体験型農園の推進 | 体験型オーナー農園の実施(実施予定) | | | | | 05 経済振興部 | 農政課 | 実施 | | |
| | | | 進捗状況 | 体験型オーナー農園を新たに実施した。 体験型農園 44区画 オーナー 37名 | 体験型オーナー農園を新たに実施した。 体験型農園 31区画 オーナー 26名 | 体験型オーナー農園を実施した。 体験型農園 25区画 オーナー 25名 | 体験型オーナー農園を実施した。 体験型農園 21区画 オーナー 18名 | | | | | |
| 101 | ●観光農業普及奨励事業 | 体験型オーナー農園の提供区画数を増やします | | | | | 05 経済振興部 | 農政課 | 実施 | | | |
| | | 進捗状況 | | | | | | | | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|---|--|------------|------------|-----------|--|---|---|--|---|---|----------|--------|----|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| 市民の数だけ夢がある 5-(7)熟年世代の夢・・・「まだ元気、これからは社会貢献だ」 | | | | | | | | | | | | | |
| ●シルバー人材センターと共同で、働く意欲のある方に職場機会を増加します。 | 【基本事務事業】生きがい就労を支援します ●シルバー人材センター関係事業 【成果・目標】 生きがい感を持っている人の割合を高めます | — | 11 | 74 | ●シルバー人材センターと連携した就労機会の充実 | 予定 ・シルバー人材センターの運営支援 ・シルバー人材センターの周知活動支援 | | | | | 08 福祉長寿部 | 高齢者支援課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 ・関係事業の運営・支援に協力した。 ・「松戸まつり」や「シニア交流センターまつり」でシルバー人材センターの周知活動に協力した。 | ・関係事業の運営・支援に協力した。 ・「松戸まつり」や「シニア交流センターまつり」でシルバー人材センターの周知活動に協力した。 | ・関係事業の運営・支援に協力した。 ・「松戸まつり」や「シニア交流センターまつり」でシルバー人材センターの周知活動に協力した。 | ・関係事業の運営・支援に協力した。 ・「松戸まつり」や「シニア交流センターまつり」でシルバー人材センターの周知活動に協力した。 | | | | |
| ●NPOと共同し、社会貢献活動を有償で行える機会を増加させ、表彰も行います。 | 【基本事務事業】協働のまちづくりを推進します ●市民活動支援事業 【成果・目標】 市民活動に参加している人の割合を高めます | 6 | 5 | 75 | ●社会貢献活動への参加機会の促進 | 予定 社会福祉協議会等関係機関との研究、協議 | 関係団体との協議 市民大学導入市へ視察 | (仮称)まつど市民大学設立準備 市民大学導入市へ視察 | まつど地域活躍塾の開催及び運営 | | 04 市民部 | 市民自治課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 高齢者を対象とした社会貢献のきっかけづくりの仕組みについて、社会福祉協議会等関係機関との研究、協議を行っている。 | 市民大学を導入している4自治体へ視察を実施した。(浦安市、船橋市、柏市、海老名市) | まつど地域活躍塾設立準備懇談会を3回、プレオープン講座を3回実施した。 | まつど地域活躍塾を6月に開講し、塾生33名のうち、29名が修了した。 | | | | |
| ●松戸の北部に市民サポートセンター設置を計画し、ボランティア活動を応援します。 | 【基本事務事業】協働のまちづくりを推進します ●市民活動支援事業 【成果・目標】 市民活動に参加している人の割合を高めます | 6 | 5 | 76 | ●新松戸市民活動支援コーナー設置 新松戸郷土資料館の事務室部分を活用し、市民活動団体や市民活動に参加しようとしている市民を対象として、印刷機や紙折り機、打ち合わせスペースを利用させるなど、市民活動の支援を行う。 | 予定 開設を受けた予算要求(内容の検討)社会教育課(郷土資料館)との調整 | 開設 指定管理者と協議 運営形態の検討(委託ほか) | 継続 市民活動相談会実施 新たな運営形態の導入 | 継続 市民活動相談会実施 エレベーター工事後の運営の検討 | | 04 市民部 | 市民自治課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 開設に向けて、内容の検討、予算要求、社会教育課(郷土資料館)との協議を行った。 | 平成27年7月新松戸市民センター3階に新松戸市民活動支援コーナーを開設した。市民活動団体へ開放し、印刷機、紙折り機と作業スペース及び、ミーティングコーナーを提供した。 ・市民活動に関する相談事業を実施した。(まつど市民活動サポートセンターのコーディネーターによる出張相談を月1回実施) ・12月1日より、利用団体からアンケートにより要望を聞き、予約・利用方法の変更を行った。 | 平成28年8月まで、新松戸市民活動支援コーナーの管理運営を行った。(新松戸市民センターのエレベーター設置工事のため9月から3月まで休館) ・市民活動に関する相談事業を実施した。(まつど市民活動サポートセンターのコーディネーターによる出張相談を月1回実施) | ・備品の充実を図り、管理運営を行った。 ・市民活動に関する相談事業を実施した。(まつど市民活動サポートセンターのコーディネーターによる出張相談を月1回実施) | | | | |
| ●松戸シルバーリンピックを2年に一回開催します。 | 【基本事務事業】健康増進事業を充実する ●健康増進啓発事業 【成果・目標】 本人が健康であると思う人の割合を高めます | 13 | 12 | 77 | ●松戸シルバーリンピックの開催 | 予定 ・健康増進を目的とするイベント開催に向けての調査・研究。 ・目的や対象に応じた実施体制の構築等を検討する。 | 実施計画の立案 | 実施計画の検討 | 実施計画の策定 | | 07 健康福祉部 | 健康増進課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 ・松戸市健康増進計画「健康松戸21」を策定した(健康づくり推進委員の諮問答申)。 ・健康増進を目的とするイベントの開催に向けての調査・研究を行った。 ・実施体制の構築等については、関係部署と30年度の実施に向けて協議中である。 | 計画の立案について、松戸市健康増進計画「健康づくり推進会議」にて諮問であり、立案についても調査・研究を行い、関係部署との調整を図った。 | 事業実施に向けての課題・問題点の抽出に努め、既に実施している各種イベント事業の発展解消も視野に入れながら検討を行った。 また、平成28年度から高齢者が元気に暮らせるまちづくり(健康づくり)の一環として、「まつど健康マイレージ」を創設した。 | 健康づくりは市民一人ひとりが積極的かつ日常的に取り組むことが大変重要である。平成28年7月から市民等への健康意識の啓発や健康増進を促し、健康づくりの「きっかけ」「定着」「継続」を図ることを目的とする、「まつど健康マイレージ」事業を開始した。今後は、松戸シルバーリンピックの開催目標と同一であるマイレージ事業の拡大を図っていく。 | | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | | 第6次実施計画No. | | 具体的な取組NO | ●具体的な取組 | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|---|--|------------|-------|------------|--|----------|--|--|--|--|--|------------|--------|-------|--|
| | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | | | | | | | |
| 市民の数だけ夢がある 5-(8)高齢世代の夢・「仲間と楽しいひと時を」 | | | | | | | | | | | | | | | |
| ●医療体制を充実させます ・市立病院を周産期医療とともに高度医療・緊急医療に特化し高齢者に対応します。 ・開業医の訪問在宅医療をサポートしていきます。 ・認知症回復に効果があるエムラチアード医療の専門家を育成し、認知症でお困りの御本人、ご家族をサポートします。 | 【基本事務事業】病院の建て替えを推進します ●新病院建設事業 【成果・目標】 病院建設事業を進捗させます | 34 | 49 | 78 | ●新病院の建設にあたり、地域周産期母子医療センターの認定を取得するとともに、地域の中核として質の高い高度医療や緊急医療に特化する | 予定 | 業者選定 実施設計 | 実施設計完了 建築工事中 | | | 平成29年12月 新病院開院予定 | 16 病院事業管理局 | 管財課 | 完了 | |
| | | | | | | 進捗状況 | 設計・施工一括での契約を締結し、実施設計を開始した。 | ・平成27年12月に実施設計が完了し、建築工事に着手した。 ・地域周産期母子医療センターの認定取得に向け、要望書の提出、調査への対応等を行った。 ・高度医療、緊急医療について、民間では積極的に提供しにくい3次救急を中心に、救急受入体制の強化に取り組み、前年比以上の救急搬送件数を実現した。 | ・建設工事については、平成29年12月の開院に向けて順調に進んでおり、平成29年3月末時点の進捗率は、52.9%となっている。 ・平成28年4月1日付けをもって千葉県より千葉県周産期母子医療センター設置・運営要綱に基づき、地域周産期母子医療センターの認定を受けた。 | ・建設工事が9月29日に竣工した。 ・新病院が12月27日に開院した。 | | | | | |
| ●医療体制を充実させます ・市立病院を周産期医療とともに高度医療・緊急医療に特化し高齢者に対応します。 ・開業医の訪問在宅医療をサポートしていきます。 ・認知症回復に効果があるエムラチアード医療の専門家を育成し、認知症でお困りの御本人、ご家族をサポートします。 | 【基本事務事業】医療体制の維持・質を向上します ●在宅医療・介護連携推進事業 【成果・目標】 在宅医療と介護が誰でも受けられ、最期まで安心して在宅で過ごせる人の割合を高めます | — | 26、28 | 79 | ●在宅生活を支える医療機関や介護事業所をサポートするための環境整備を推進する | 予定 | 地域における包括的かつ継続的な在宅医療を提供する体制の構築を目指す。 ①多職種合同カンファレンスの実施。 ②在宅医療に関する地域住民への普及啓発 ③在宅医療従事者の負担軽減の支援 ④効率的な医療提供のための多職種連携 ⑤在宅医療に従事する人材育成 | 平成27年度より事業が介護制度改革課へ移管 介護保険法の改正に伴い、法制化された在宅医療・介護連携推進事業の中で実施。委託した医師会の医療機関と共に検討。29年度までの3年間で充実させる | 介護事業者等の参画 | 充実 | | 08 福祉長寿部 | 高齢者支援課 | 実施 | |
| | | | | | | 進捗状況 | 地域における包括的かつ継続的な在宅医療を提供する体制の構築を目指す。各事業を医師会に一部委託し等により実施している（一医療機関は医師会からの推薦による）。 ア 地域の医療と介護の資源の把握（トータックアムニティに委託） イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討（医師会に委託） ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進（医師会に委託） エ 医療・介護関係者の情報共有の支援（一医療機関に委託） オ 在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置（相談103件、医師によるアウトリーチ19件） カ 医療・介護関係者の研修（一医療機関に委託） キ 地域住民への普及活動（医師会と市が共同で実施） ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携 ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携 ・二次医療圏域での連携会議の開催（2回） | 地域で在宅医療と介護を一体的に提供するため、各事業を委託等により実施している。 ア 地域の医療と介護の資源の把握（トータックアムニティに委託） イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討（医師会に委託） ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進（医師会に委託） エ 医療・介護関係者の情報共有の支援（医師会に委託） オ 在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置（相談108件、医師によるアウトリーチ8件） カ 医療・介護関係者の研修（医師会に委託） キ 地域住民への普及活動（医師会と市が共同で実施） ク 在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携 ・二次医療圏域での連携会議の開催（2回） | | | | | | | |
| ●認知症対策の充実 認知症施策の推進 ①認知症ケアパスの作成 ②認知症地域支援推進員（コーディネーター）の配置 | ●認知症支援総合事業 【成果・目標】 認知症の早期支援及びその他総合的な支援を行います。 | — | 26、28 | 80 | ●認知症対策の充実 認知症施策の推進 ①認知症ケアパスの作成 ②認知症地域支援推進員（コーディネーター）の配置 | 予定 | ①認知症ケアパスの作成 ②認知症初期集中支援チームの設置の検討 ③認知症地域支援推進員の配置の準備 | ①施策の円滑な推進 ②チームの設置 | | | ②地域包括支援センターごとの設置を検討 ③地域包括支援センターごとの設置を検討 | 08 福祉長寿部 | 高齢者支援課 | 実施 | |
| | | | | | | 進捗状況 | ①気づきシート及び社会資源シートを作成した。 ②モデルチーム設置に向け松戸市医師会と協議した。 ③市役所本庁に認知症地域支援推進員を配置した。 | ①認知症コーディネーター・包括・オレンジ協力員で認知症ケアパス検討会を3回開催し、新たに概要版を作成した。内容の充実を図り、住民等に配布した。 ②チームが支援した件数は16件。 ③ケアパス作成、認知症コーディネーターとの連携を行った。また、認知症カフェに関わっている。認知症地域支援推進員は15名に増員した。 | ①認知症コーディネーター・包括・オレンジ協力員で認知症ケアパス検討会を3回開催し、新たに概要版を作成した。内容の充実を図り、住民等に配布した。 ②チームが支援した件数は20件。 ③ケアパス作成、認知症コーディネーターとの連携を行った。また、認知症カフェに関わっている。認知症地域支援推進員は31名に増員した。 | | | | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|--|--|------------|------|-----------|---|------|---|--|---|---|--------------------|-----------------|------|
| | | 26年度 | 27年度 | | | 28年度 | 29年度 | | | | | | |
| | | | | | | | | 26年度 | 27年度 | | | | 28年度 |
| ●介護体制を充実させていきます。 ・要支援者台帳の整備を完了します。 ・特別養護老人ホーム開設・小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護グループホーム・認知症対応型通所介護事業所等の施設の拡充に努めます。 ・介護ボランティア制度をさらに充実させたいと思います。 ・安心電話サービス事業の拡充を図ります。 | 【基本事務事業】地域ケア体制を整備します ●地域ケアシステム推進事業 【成果・目標】 全ての地区で災害時における要支援者の避難体制を構築します | 24 | 25 | 81 | ●要支援者台帳の整備完了 | 予定 | 避難行動要支援者避難支援制度における実施地区の拡大 ・3地区実施予定 | ・3地区実施予定 | ・3地区実施予定(全地区実施終了) | 名簿の定期的な更新整備(新規・変更・取消登録) | 07 健康福祉部 01 総務部 | 地域福祉課 危機管理課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・実施地区の拡大等を図った(新規実施地区 矢切・常盤平・新松戸 計3地区) ・計7地区で要支援者名簿の貸出を実施 | ・実施地区の拡大等を図った(新規実施地区 明第二、五香松飛台、六実六高台 計3地区) ・新規3地区で要支援者名簿の貸出を実施 ・前7地区で要支援者名簿の更新のための貸出を実施 | ・実施地区の拡大等を図った(新規実施地区 明第一、東部、常盤平団地 計3地区) ・新規3地区で要支援者名簿の貸出を実施 ・前10地区で要支援者名簿の更新のための貸出を実施 | ・市内全地区の整備が完了(計15地区) ・全地区で要支援者名簿の貸出を実施 | | | |
| 【基本事務事業】施設サービスを充実します ●老人福祉施設等整備促進事業 【成果・目標】 事業計画に基づき整備します | 【基本事務事業】施設サービスを充実します ●老人福祉施設等整備促進事業 【成果・目標】 事業計画に基づき整備します | — | — | 82 | ●特別養護老人ホーム開設、小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護・認知症対応型通所介護事業所の拡充 | 予定 | いきいき安心プランIVまっど(第6期松戸市高齢者保健福祉計画、第5期松戸市介護保険事業計画(平成24年度～平成26年度)(以下「介護保険事業計画」とする。)に基づいた整備 第6期介護保険事業計画の策定 | 第6期介護保険事業計画に基づいた整備 第5期介護保険事業計画に基づき特養1ヶ所(定員100人)開設予定 | 第5期・第6期介護保険事業計画に基づき、地域密着型特養1ヶ所(定員29人)、特養1ヶ所(定員100人)、認知症対応型共同生活介護1ヶ所(定員18人)、(看護)小規模多機能型居宅介護事業所3ヶ所(登録定員62人)、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所2ヶ所開設予定 | 第6期介護保険事業計画に基づき、認知症対応型共同生活介護2ヶ所(定員36人)、(看護)小規模多機能型居宅介護事業所3ヶ所(定員87人)、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所1ヶ所開設予定 第7期介護保険事業計画の策定 | 08 福祉長寿部 | 高齢者支援課 介護保険課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 第6期介護保険事業計画に基づく整備を行った。 ・認知症対応型共同生活介護5ヶ所開設(定員90人) ・小規模多機能型居宅介護3ヶ所開設(登録定員74人) ・特別養護老人ホームについては、第5期介護保険事業計画に基づき整備を進めていたが、実施設計や開設計等の通過で不測の期間を要したために、平成26年度中に開設することができず、平成27年度開設予定となった。 第6期介護保険事業計画を策定した。 | 第5期・第6期介護保険事業計画に基づく整備を行った。 ・特別養護老人ホームについて、2ヶ所開設(共に定員100名) ・(看護)小規模多機能型居宅介護事業所1ヶ所開設(登録定員29人) ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所1ヶ所開設(定員20人) | 第5期・第6期介護保険事業計画に基づく整備を行った。 ・地域密着型特養1ヶ所開設(定員29人)、特養1ヶ所開設(定員100人) ・看護小規模多機能型居宅介護事業所2ヶ所開設(登録定員48人)、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所2ヶ所開設。 ・認知症対応型共同生活介護併設小規模多機能型居宅介護事業所については、第6期介護保険事業計画に基づき整備を進めていたが、関係部署との協議に不測の期間を要したために平成28年度中に開設することができず、平成29年度の開設予定となった。 | 第6期介護保険事業計画に基づく整備を行った。 ・特養1ヶ所開設(定員100人) ・認知症対応型共同生活介護1ヶ所開設(定員18人) ・小規模多機能型居宅介護事業所1ヶ所開設(登録定員29人) ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所1ヶ所開設。 ・認知症対応型共同生活介護及び小規模多機能型居宅介護事業所については、関係部署との協議に不測の期間を要したために平成29年度中に開設することができず、平成30年度の開設予定となった。 ・看護小規模多機能型居宅介護事業所についても、不測の事態により、人員を確保することができず、平成30年度開設予定となった。 第7期介護保険事業計画を策定した。 | | | |
| 【基本事務事業】安全な生活を支援します ●安心電話サービス事業 【成果・目標】 安心電話サービスを充実します | 【基本事務事業】安全な生活を支援します ●安心電話サービス事業 【成果・目標】 安心電話サービスを充実します | — | 27 | 83 | ●安心電話サービス事業の拡充 ①緊急通報装置の貸与 ②あんしん電話サービス:市内9ヶ所で医業・地域が連携して見守り・声かけを実施(1ヶ所100人程度) | 予定 | ①緊急通報装置の貸与事業について、サービスと価格の検証を行う ②あんしん電話サービスを実施している地域や医療関係者と情報交換会を行い、今後の実施に向けて協議中 | ①市内全域の機器の交換(順次)と利用者に対する説明・問合せ対応。今後のサービスに向けて変更後のリサーチ。 ②あんしん電話サービスによる見守り事業実施内容決定 | | | 08 福祉長寿部 | 高齢者支援課 介護保険課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ①プロポーザル方式の選考会を行い、平成27年度より委託業者が変更となり、今まで以上のサービスが提供でき、また、競争性を図ったことで、契約単価も下がった。 ②あんしん電話サービスを実施している地域や医療関係者と情報交換会を行い、今後の実施に向けて協議を行なった。 | ①利用者全員の機器の交換が終了し、利用者からの問合せについては随時対応している。今後の更なるサービス向上に向け、利用者からの相談内容については蓄積しており、また、民生委員・児童委員よりサービス内容変更後の現状について随時意見を伺っている。 ②平成27年度末331世帯があんしん電話サービスに登録。あんしん電話事業補助金をサービスを実施している地域や医療関係者に支払った。 | ①今後の更なるサービス向上に向け、利用者からの相談内容については蓄積しており、また、民生委員・児童委員よりサービス内容変更後の現状について随時意見を伺っている。 【新規設置台数】 222台 ②平成28年度末357世帯があんしん電話サービスに登録。あんしん電話事業補助金をサービスを実施している地域や医療関係者に支払った。 | ①緊急通報装置を設置することにより日常生活の安全を確保すると共に、安否センサーを配置し、異常の早期発見に努めた。 【新規設置台数】 222台 ②平成29年度末468世帯があんしん電話サービスに登録。あんしん電話事業補助金をサービスを実施している地域や医療関係者に支払った。 | | | |
| 【基本事務事業】社会参加を支援します ●介護ボランティア事業 【成果・目標】 介護支援ボランティアの登録者数を増やします | 【基本事務事業】社会参加を支援します ●介護ボランティア事業 【成果・目標】 介護支援ボランティアの登録者数を増やします | 12 | — | 84 | ●介護ボランティア制度の充実 | 予定 | ・ボランティア登録者の拡大 ・受入施設の拡大 ・ポイント還元の内容充実 | | | | 08 福祉長寿部 | 高齢者支援課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・介護支援ボランティア78人の新規登録者数を確保した。 ・新たにデイサービスおよびデイケアを受入機関の対象とし、34施設の新規申請を受けた。 ・介護支援ボランティア評価ポイント申請者95名、内交付金91名、障害者就労施設生産品10名、両方申請したのは6名だった。 | ・介護支援ボランティア133人の新規登録者数を確保した。(登録者数 424人) ・新たにデイサービス8施設の追加。(受入機関 65施設) ・介護支援ボランティア評価ポイント申請者95名、内交付金91名、障害者就労施設生産品10名、両方申請したのは6名だった。 | ・介護支援ボランティア57人の新規登録者数を確保した。また、登録者数が前年より減となった。(登録者数 362人) ・受入機関としてデイサービス3施設、特定施設入居者生活介護3施設の追加。(受入機関72施設) ・介護支援ボランティア評価ポイント申請者148名、内交付金126名、障害者就労施設生産品31名、両方申請したのは9名だった。 | ・介護支援ボランティア53人の新規登録者数を確保した。また、登録者数が19名あり、登録者数 396人である。 ・受入機関として障害者施設10施設、放課後児童クラブ7施設の追加。(受入機関89施設) ・介護支援ボランティア評価ポイント申請者158名、内交付金129名、障害者就労施設生産品32名、両方申請したのは3名だった。 | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル |
|---|--|------------|------------|-----------|---|--|--|--|--|----------|-------|-------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | |
| 市民の数だけ夢がある 5-(9)障害者の夢・「社会復帰」 | | | | | | | | | | | | |
| ●障害者就労支援～実のりの会に委託～を充実します。 ●障害者の雇用促進に努めます。 ●市庁舎等で障害者団体が、ミニ喫茶のような出店ができるよう検討します。 | 【基本事務事業】地域で自立した生活を送れるように支援します ●障害者就労支援事業 【成果・目標】 障害者の継続的な就労や、新規就労相談件数を増やします | 20 | 21 | 85 | ●実のりの会に委託 一般就労支援(一般就労相談の充実及び就労定着の支援) 地域自立支援協議会の委員を商工会議所より選任し、一般民間企業との連携を図る | 就労支援の充実 | | | | 08 福祉長寿部 | 障害福祉課 | 実施 |
| | | | | | 予定 | | | | | | | |
| | | | | | 進捗状況 | 就労支援の充実を図った。 ・相談支援:5,560件 (うち定着支援:472件) ・就労件数:23件 ※延べ数 | 就労支援の充実を図った。 ・相談支援:6,704件 (うち定着支援:495件) ・就労件数:34件 ※延べ数 | 就労支援の充実を図った。 ・相談支援:8,208件 (うち定着支援:648件) ・就労件数:38件 ※延べ数 ・ジョブコーチ:14件(12社209日) | 就労支援の充実を図った。 ・相談支援:6,403件 (うち定着支援:766件) ・就労件数:40件 ※延べ数 ・ジョブコーチ:26件(20社237日) | | | |
| ●障害者就労施設における新商品の生産・開発支援 ●障害者優先調達方針に基づいた生産品の販売機会の拡大を推進 | 【基本事務事業】地域で自立した生活を送れるように支援します ●基幹相談支援センター等事業 【成果・目標】 新規相談件数を増やします | 19 | 22 | 86 | ●障害者就労施設における新商品の生産・開発支援 ●障害者優先調達方針に基づいた生産品の販売機会の拡大を推進 | 工賃向上に向けた取り組み | | | | 08 福祉長寿部 | 障害福祉課 | 実施 |
| | | | | | 予定 | | | | | | | |
| | | | | | 進捗状況 | 工賃向上に向け取り組んだ。 ①新商品の生産・開発支援実績 実施:6事業所 仕途:原材料費・備品購入費 ②優先調達実績額 11,119,068円 | 工賃向上に向け取り組んだ。 ①工賃向上ワークショップ開催実績 参加事業所数:4事業所 ②優先調達実績額 17,667,024円 | 工賃向上に向け取り組んだ。 ①工賃向上ワークショップ事業 (中級)開催実績 参加事業所数:3事業所 ②優先調達実績額 18,800,049円 【達成率107.2%】 ③共同受注ネットワークプロジェクト事業 参加事業所数:4事業所 | 工賃向上に向け取り組んだ。 ①優先調達実績額 17,657,396円 【達成率94.5%】 ②共同受注ネットワークプロジェクト事業 参加事業所数:7事業所 | | | |
| ●市庁舎など市有施設における障害者団体による喫茶店や売店等の出店を検討 ①出店にあたり、障害者施設の共同受注の検討 ②取扱う商品や運営におけるノウハウを取得するための民間企業との連携 | 【基本事務事業】地域で自立した生活を送れるように支援します ●基幹相談支援センター等事業 【成果・目標】 新規相談件数を増やします | 19 | 22 | 87 | ●市庁舎など市有施設における障害者団体による喫茶店や売店等の出店を検討 ①出店にあたり、障害者施設の共同受注の検討 ②取扱う商品や運営におけるノウハウを取得するための民間企業との連携 | 市有施設での障害者団体出店について事業所及び施設管理者等との協議 | | | | 08 福祉長寿部 | 障害福祉課 | 完了 |
| | | | | | 進捗状況 | H27.4.1から障害者就労施設による東松戸病院内売店の運営実施に向け、検討会・準備を実施した。 障害者施設数8か所 | H27.4.1から障害者就労施設2事業所による東松戸病院内売店の共同運営を開始した。併せて、障害者施設生産商品の取り扱い、事業の検証・評価及び報告書を作成した。 東松戸病院内売店リニューアルオープン&販売2周年記念フェアを開催 障害者施設数11か所 | 共同受注のモデル事業として、東松戸病院内売店の共同運営と併せて、障害者施設生産商品の取り扱い、事業の検証・評価及び報告書を作成した。 東松戸病院内売店リニューアルオープン&販売2周年記念フェアを開催 障害者施設数11か所 | | | | |
| ●障害者虐待防止センターを設置し、障害者に係る虐待対応、家族の支援を行います。 | 【基本事務事業】地域で自立した生活を送れるように支援します ●基幹相談支援センター等事業 【成果・目標】 新規相談件数を増やします | 19 | 22 | 88 | ●障害者虐待防止センターにおいて障害者にかかる虐待対応、家族の支援 | 障害者相談支援の充実 | | | | 08 福祉長寿部 | 障害福祉課 | 実施 |
| | | | | | 進捗状況 | 障害者相談支援の充実を図った。 相談受付数:18件 【内訳】 ・養護者:12件 ・使用者:3件 ・施設従事者:3件 | 障害者相談支援の充実を図った。 相談受付数:22件 【内訳】 ・養護者:17件 ・使用者:0件 ・施設従事者:5件 | 障害者相談支援の充実を図った。 相談受付数:35件 【内訳】 ・養護者:29件 ・使用者:0件 ・施設従事者:6件 | 障害者相談支援の充実を図った。 相談受付数:65件 【内訳】 ・養護者:51件 ・使用者:4件 ・施設従事者:10件 | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | | | | |
|--|---|------------|------------|-----------|---|---|---|--|--|---------|----------|-------|------|------------------------|--------------------|------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | | | | |
| 6 地域には地域の夢がある | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (常盤平・小金原・牧の原団地) ●ニュータウンを越えたフューチャータウンへ、居住者・URと協働で検討していきます。 | 【基本事務事業】良質な公共住宅を供給します ●大規模団地等活性化事業【小金原・牧の原】 【成果・目標】 集合住宅のあるまちの今後のまちづくりの方向性について、市民・事業者・行政などで共有します | 113 | 142 | 89 | 【小金原・牧の原団地】 ●居住者・URとの協働によるまちづくりの検討 意見集約を行う場の設置検討を進める | 懇談会等の検討 | | | | 懇談会等の検討 | 10 街づくり部 | 住宅政策課 | 一部実施 | | | |
| | | | | | 進捗状況 | 懇談会等の設置に向けて団地再生の事例などを情報収集した。 | UR都市機構と意見交換会・定期協議会を通して、MUJI×UR団地リノベーションプロジェクト導入の要望を行い、牧の原団地で実施された。(5戸) | UR都市機構と連携し、子育て世代等向けの家賃減額する割引制度を拡大した。(常盤平団地・小金原団地・牧の原団地 他7団地) | UR都市機構と連携し、子育て世代等向けの家賃減額する割引制度を拡大した。(常盤平団地・小金原団地・牧の原団地 他11団地) | | | | | | | |
| | | | | 90 | 【常盤平団地】 ●総合政策部、街づくり部及び健康福祉部等が連携し、URとの定期協議を進める。 | 定期協議 | | | | | | | | 02 総合政策部 (07 健康福祉部) | 政策推進課 (健康福祉政策課) | 実施 |
| | | | | | 進捗状況 | ○26年度に定期協議を3回開催。各種の意見・情報の交換を行った。 ○URの子育て・若者世代の家賃優遇制度(子育て割・U29)について市内団地が対象外とされていたが、市からの申し入れにより制度の対象団地となった。 ○URが若者世代向けに住戸を改修(2戸)し、好評。今後、拡充していく。 | ○平成27年度に策定した総合戦略のなかでUR都市機構などの集合住宅のあるまちの今後のまちづくりについて、市民、事業者、行政などが連携して検討することとした。 ○市とURとの定期協議を計7回開催し、各種の意見・情報の交換を行った。 ○松戸市が発行している「子育てガイドブック」と「松戸やさしい暮らしガイド」をURの都内の営業所に置いてもらう事とした。 ○URとの協議により家賃優遇制度(そのママ割、U35割)の対象団地が拡大された。 ○URとの協議により団地活性化と若者世代の呼び込みの一例として、URと民間企業のコラボによる、リノベーションプログラムを実施し、5戸の改修を実施した。(牧の原で実施) ○URとの協議により若年層向けリフォーム住宅5戸を募集開始した。(常盤平団地で実施) | 団地自治会と市で個別に意見交換を行った。 また、平成29年度から市、団地自治会及びUR都市機構の三者で今後のまちづくりについて勉強会を開催することとした。 | ○継続して団地自治会と市で個別に意見交換を行った。 ○市、団地自治会及びUR都市機構の三者で今後のまちづくりについて、話し合いの場として「三者合同勉強会」を開催した。 勉強会は、平成29年4月・7月・11月、平成30年2月の計4回開催した。 勉強会では、今後のまちづくりについての意見交換及び団地再生の先進事例である「UR都市機構高根台団地」を視察した。 ○「三者合同勉強会」については、平成30年度以降もそれぞれの組織の体制や担当が変わっても継続して開催していくことを市、団地自治会及びUR都市機構の三者で確認し合意している。 | | | | | | | |
| | | | | 91 | 【常盤平団地】 ●個別案件 現時点では西集会所を改修し子育て施設としての整備が課題となっている。他の案件は発生の都度対応していく。 | 関係者の意見集約 | 費用対効果や費用負担のあり方など総合的な視点から継続して検討。 | | | | | | | 07 健康福祉部 | 健康福祉政策課 | 一部実施 |
| | | | | | 進捗状況 | ○東集会所の施設整備については、URが事業者に対するヒアリングを実施する段階まで至ったが、事業の採算性等の問題から継続協議となっている。 ○新規案件として、西集会所を改修し子育て施設(おやこDE広場)を整備し、子育て世代を呼び込むことで、市とURで基本的な合意に至り、UR、子ども部及び健康福祉部の三者で実際に現地を視察し、改修プランの検討をはじめている。 | ○西集会所について、おやこDE広場への整備に向け協議を重ね、URより改修案の提示までに至ったが、事業費用等の課題があり、継続協議となった。 | ○建物の老朽化や事業費用等の課題解決に向けた協議の開催には至らなかった。 | ○協議は行なわれなかった(協議再開の予定はない)。 | | | | | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組NO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|---|--|------------|------------|----------|--|------|---|---|--|---|------------|--|-------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| (上本郷・千駄堀地区) ●新市立病院、運動公園を中心に名実ともに健康タウンにします。 | 【基本事務事業】病院の建て替えを推進します ●新病院建設事業 【成果・目標】 病院建設事業を進捗させます | 34 | 49 | 92 | ●新市立病院の建設 | 予定 | 業者選定 実施設計 | 実施設計完了 建築工事着工 | | 平成29年12月 新病院開院予定 | 16 病院事業管理局 | 管財課 | 完了 |
| | | | | | | 進捗状況 | 設計・施工一括での契約を締結し、実施設計を開始した。 | 平成27年12月に実施設計が完了し、建築工事に着手した。 | ・建設工事については、平成29年12月の開院に向けて順調に進んでおり、平成29年3月末時点の進捗率は、52.9%となっている。 | ・建設工事が9月29日に竣工した。 | | | |
| (東松戸・秋山地区) ●駅周辺空き地を総合公共施設(支所・市民センター・図書館)にし松戸ヤングタウンとして育てます。 | 【基本事務事業】合理的な土地利用を進めます ●まちづくり用地活用事業 【成果・目標】 東松戸駅周辺の魅力が上がり、住民の満足度も上がります | 108 | 117 | 93 | ●東松戸駅周辺のまちづくりの検討(65街区含む) | 予定 | 庁内協議 地元住民との協議 | 旧65街区の活用基本方針の検討 | ●用地の買戻し ●基本構想の策定 ●事業手法の決定 ●松戸市公共施設再編整備推進審議会の開催(4回予定) ●ワークショップを開催 | ●仮)プロポーザル事業支援業務委託の締結 ●仮)プロポーザルの実施 ●事業者決定 ●松戸市公共施設再編整備推進審議会の開催(4回予定) | 02 総合政策部 | 公共施設再編課 政策推進課 (街づくり課) (市民自治課) (図書館) (幼児保育課) | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 商業施設の誘導を図るため、66街区を売却した。 | 【旧66街区】 民間事業者による事業進行(設計、認可取得、着工) (平成29年度事業完了予定) 【旧65街区】 ●旧65街区の活用基本方針を策定した。 ●松戸市公共施設再編整備推進審議会の開催した(3回) | 【旧66街区】 民間事業者による事業進行の進捗確認(施工状況及び住宅部の販売状況) 【旧65街区】 ●実施方針を確定した。 ●用地の買戻しをした。 ●松戸市公共施設再編整備推進審議会の開催した(3回) ●ワークショップを開催した(2回) | 【旧66街区】 民間事業者による事業が完了した。 【旧65街区】 東松戸まちづくり用地活用事業 ●実施方針の公表 ●募集要項等の公表 ●公募(1グループ提案) ●公開プレゼンテーションの開催 ●プロポーザル審査委員会の開催 ●優先交渉権者の公表 平成30年度 事業手法を含めた計画の再構築 | | | |
| | | | | | | 予定 | 図書館整備計画(構想)の策定 | 計画の推進 (具体的な整備の検討) | | | | | |
| | | | | | | 進捗状況 | 図書館整備計画(構想)原案を策定した。 | 松戸市図書館整備計画を策定した。 | 平成27年度に松戸市図書館整備計画を策定済み。 | | | | |
| (八ヶ崎地区) ●住民・バス会社・市で協働し循環バスの運行を検討します。 | 【基本事務事業】輸送力を増強します ●バス利用活性化事業 【成果・目標】 八ヶ崎地区の循環バス運行を検討します | — | — | 96 | ●八ヶ崎地区の状況確認 ●関係部署(新病院事業等)との連携 | 検討 | | | | | 10 街づくり部 | 交通政策課 | 一部実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・八ヶ崎地区の交通利便性について検討を行った。 ・松戸新京成バス馬橋線を新病院まで延伸することについて事業者に打診した。 | 新たな公共交通システムを構築するため、八ヶ崎地区を含めた市内全域の基礎調査を実施した。 | 都市計画道路3.3.6号の開通に伴い、路線バスの再編について、松戸新京成バスに打診した。 | 都市計画道路3.3.6号を利用し、総合医療センターを結んだ路線バスの再編について、松戸新京成バスに打診した。 | | | |
| | | | | | | 予定 | 地元町会長組織と継続協議 | 再開発事業等の手法によるまちづくりイメージの作成 | 事業採算性の合う整備計画案の検討 | 意向調査 | | | |
| | | | | | | 進捗状況 | 地元組織である「馬橋駅東口周辺を良くする会」との意見交換や講習会について支援を行った。 | 再開発事業等の手法によるまちづくりの検討を行った。 | 建築費の高騰等による事業採算性面での課題が浮き彫りになった。 | 駅前広場や都市計画道路の整備への要望意見が多い結果が得られた。 | | | |
| (八ヶ崎地区) ●住民・バス会社・市で協働し循環バスの運行を検討します。 | 【基本事務事業】輸送力を増強します ●バス利用活性化事業 【成果・目標】 八ヶ崎地区の循環バス運行を検討します | — | — | 97 | ●馬橋駅東口の整備 市街地再開発事業などにより、駅前広場や都市計画道路などの交通基盤の整備や、快適な歩行者空間の整備を進める。 | 予定 | 地元町会長組織と継続協議 | 再開発事業等の手法によるまちづくりイメージの作成 | 事業採算性の合う整備計画案の検討 | 意向調査 | 10 街づくり部 | 街づくり課 | 検討・準備 |
| | | | | | | 進捗状況 | 地元組織である「馬橋駅東口周辺を良くする会」との意見交換や講習会について支援を行った。 | 再開発事業等の手法によるまちづくりの検討を行った。 | 建築費の高騰等による事業採算性面での課題が浮き彫りになった。 | 駅前広場や都市計画道路の整備への要望意見が多い結果が得られた。 | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|--|--|------------|------------|-----------|--|------|--|--|--|--|--------------------------------------|-------------------------------|------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| (八柱・松台地区) ●21世紀の森・ホールそして新駅建設で文化の香り発信拠点にします。 | 【基本事務事業】社会・経済環境や市内部の情報を収集し分析します ●政策検討事業 【成果・目標】 まちづくりの方向性を検討します | — | — | 98 | ●千駄堀のまちづくりの検討 (文化の香り発信拠点を含む) | 予定 | 庁内会議 | 関係課と連携を図りながら、文化イベント等の検討及び実施 | 関係課と連携を図りながら、文化イベント等の検討及び実施 | まちづくり(文化の香り発信拠点)としての方向性を示す | 02 総合政策部 (05 経済振興部) (10 街づくり部) | 政策推進課 (文化観光国際課) (公園緑地課) | 一部実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ●関係課にてまちづくりの方向性について共有を図った。 ●21世紀の森と広場を中心に、アニメソング・アイドルコンサート、コスプレイベントのコラボレーションイベントを開催した。 ●その他、公園アート、ルービックキューブなどのイベントを開催した。 | 21世紀の森と広場において、お笑いイベントとフードコートが合体した「光と風のマルシェ」を開催し、森のホール21では「アニソンイチャパン!!」というアニソングの開催によるコンサートを行った。合わせて約12,000人が参加した。また、東京オリンピック・パラリンピックのロゴデザインを手がける野老英雄氏など4組のアーティストが21世紀の森と広場を舞台に秋に作品展示を行った。 | 21世紀の森と広場で東京藝術大学と武蔵野大学のゼミのアート作品の展示を行い、森のホール21でアニソンコンサートを実施した。また、「和太鼓の公演」を実施し1万人が参加した。 | 森のホール21で開催した、デーモン閣下による夜会(歌と朗読のライブ)に560人、アニソンコンサートに1,700人が参加した。 | | | |
| (20世紀が丘、矢切、大橋地区) ●市民サポートセンターを中心に21世紀型ポランディアタウンのモデルをつくります。 | 【基本事務事業】協働のまちづくりを推進します ●市民活動支援事業 【成果・目標】 市民活動に参加している人の割合を高めます | 119 | 132 | 99 | ●千駄堀地区の交通利便性の向上 ・新京成八柱駅～常盤平駅間の新駅 ・主要施設までのアクセスの向上 | 予定 | ●主要施設までのアクセスの向上を検討 | ●主要施設までのアクセスの向上を検討 | ●主要施設までのアクセスの向上を検討 | ●主要施設までのアクセスの向上を検討 | 10 街づくり部 | 街づくり課 都市計画課 交通政策課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ●主要施設までのアクセスの向上を検討した。 ●平成27年3月16日から、松戸新京成バス小原線(八柱駅～新松戸駅)を新設し、21世紀の森・ホールへのアクセスが向上した。 | ●新設路線松戸新京成バス小原線(八柱駅～新松戸駅)の周知を図った。 ●新駅設置を新京成電鉄に要望(11月1日)。 ●松戸市立総合医療センターの開院(29.12.27)に伴うバス路線の延伸(松高線)について要望した。 ●中和倉地区周辺のコミュニティバス実証運行について、関係部署等と協議した。 | ●新駅設置を新京成電鉄に要望(10月30日)。 ●平成29年12月16日より、松戸新京成バス松高線の運行が総合医療センターまで延伸した。 ●平成29年12月16日より、松戸市コミュニティバス(ゆめいろバス)の実証運行が、馬橋駅～北松戸駅～総合医療センター間で開始した。 | ●松戸市立総合医療センターの開院に伴うバス路線の延伸(松高線) ●中和倉地区周辺のコミュニティバス実証運行を開始 | | | |
| (20世紀が丘、矢切、大橋地区) ●野菊の墓、矢切りの渡しをウォーターフロントスポットに仕上げます。 | 【基本事務事業】協働のまちづくりを推進します ●市民活動支援事業 【成果・目標】 市民活動に参加している人の割合を高めます | 6 | 5 | 100 | ●ポランディアタウンとしてのモデル事業の検討と実施 | 予定 | 平成27年度から平成30年度指定管理者選考 | 市民活動サポートセンター指定管理者等と研究 | | | 04 市民部 | 市民自治課 | 一部実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | まつど市民活動サポートセンターの指定管理者の選考、指定を行った。(平成27年度から平成30年度まで) | 地域(町会・自治会、市民活動、ポランディア)で活動する市民を増やすための仕組みとして、(仮称)まつど市民大学の設立に向けて、まつど市民活動サポートセンターと協議を行った。 | まつど地域活躍塾の開催に向けて、まつど市民活動サポートセンターと運営方法やカリキュラムについて協議を行った。 また、まつど地域活躍塾設立準備懇談会を3回、プレオープン講座を3回実施した。 | 市民活動サポートセンター指定管理者等とまつど市民活動サポートセンターの松戸市における役割とこれから発展が求められる重点課題等について、協議を行った。 | | | |
| (20世紀が丘、矢切、大橋地区) ●野菊の墓、矢切りの渡しをウォーターフロントスポットに仕上げます。 | 【基本事務事業】松戸駅周辺を活性化します ●松戸駅周辺地域活性化事業 【成果・目標】 松戸駅周辺と連携を図りながら、矢切の渡し周辺の観光拠点を整備する | 92 | 103 | 101 | ●野菊の墓、矢切りの渡しのウォーターフロントスポット 歴史資源のある矢切の渡し周辺の観光拠点の整備推進を図る。 | 予定 | ●松戸駅周辺まちづくり基本構想の策定(まちづくり委員会の諮問回答) ●施設配置など「基本計画」の作成及び事業スキームの検討 | 矢切観光拠点整備の推進 | | | 10 街づくり部 | 街づくり課 | 一部実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ●松戸駅周辺まちづくり基本構想について、まちづくり委員会から答申を受けた。 ●松戸駅周辺まちづくり基本構想において、矢切観光拠点づくり基本計画(案)を作成し、整備の方向性を定めた。 | ●関係地権者に対して説明会を開催し、現地調査及び測量を実施した。 ●拠点の一部となる公園及び関連するアクセス道路の地権者に対して、整備について理解を得るため説明会及び公園地権者への意向調査を実施 ●アクセス道路にかかる現況道路の境界確定を実施 | ●観光拠点基本計画(案)を作成した。 ●国道6号線から観光拠点予定地へのアクセス道路について、土質調査、相違物件調査及び道路幅員の現地測量を実施した。 ●観光拠点の一部である都市公園予定地の地権者に対して、個別に訪問し、用地の協力を依頼した。 | | | | |
| (20世紀が丘、矢切、大橋地区) ●野菊の墓、矢切りの渡しをウォーターフロントスポットに仕上げます。 | 【基本事務事業】水辺空間をよくします ●水辺拠点事業 【成果・目標】 坂川親水広場の再整備を完了させます | 122 | 135 | 102 | ●坂川親水広場の再整備 | 予定 | ●坂川親水広場の再整備の再整備の結果を踏まえ、学識者から更なるアドバイスをいただきながら、矢切の地域特性を活かした広場の詳細設計を造り上げる。 | 親子で水と親しめる広場とするため、造成工事を行う。 | 四季を感じ、子どもからお年よりまで、楽しめる地上施設の整備を行う。 | 坂川親水広場が再整備したことを市民に周知するため、夏に親子で楽しめるイベントを実施する。 | 11 建設部 | 河川清流課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ●坂川親水広場の再整備の結果を踏まえ、学識者から更なるアドバイスをいただきながら、矢切の地域特性を活かした広場の詳細設計を造り上げた。 | 親子で水と親しめる広場とするため、造成工事を行った。 | 四季を感じ、子どもからお年よりまで、楽しめる地上施設の整備を行った。 | 坂川親水広場が再整備したことを市民に周知するため、夏に親子で楽しめるイベントを実施した。 | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|--|---|------------|------------|-----------|--|---|---|--|--|---|----------|-------|------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| (新松戸地区) ●新松戸駅周辺ゾーンを松戸第2のタウンにします。 ●廃校跡地が新しい新松戸の拠点になります。 ●学生街としての佇まいを整備し文教地区にします。 | 【基本事務事業】良質な宅地を提供します ●土地整理事業 【成果・目標】 新松戸東側の街づくり(新松戸東部土地整理事業)を担う、協議会などの組織化を図られています | 109 | 118,119 | 103 | ●新松戸駅東側の街づくり 新松戸駅東側の街づくりについて、地元との井戸端会議的な話し合いを重ね、地元と協働で将来の街の方向性などを見出し出していく。 | 予定 | ・土地権利者、地区内居住者を対象に意識・意向のアンケート調査 ・地元との話し合いを重ね、将来の街の方向性などを見出し出していく。 | ・整備イメージを具体的に把握できるよう街並みのパース図や設計図等を作成し、数回の井戸端会議により、地元の意見を引き出し協議会の組織化を図る。 | ・最優先整備地区の設定 ・権利者に個別意向調査及び権利者全体説明会を実施する。 ・井戸端会議の開催(1回) ・個別意向調査を踏まえ、事業手法を検討し、街づくりへの同意を得る。 | ・平成31年度までに事業認可を得ることを目標として、測量及び調査を行い、事業計画、詳細設計の作成を行う。 ・全権利者へ事業計画、詳細設計への合意を得る。 | 10 街づくり部 | 街づくり課 | 一部実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・事業調査検討業務委託を実施(アンケート調査含む)した。 ・アンケート調査結果を元に、地元と協働で将来の街の方向性などを見出すための井戸端会議を開催し、新松戸駅東側の街づくりについて意見交換を行った。(1回) | ・事業調査検討業務委託を実施した。 ・井戸端会議の開催(4回) ・権利者意向調査並びに地権者意見交換会を実施(各1回) ・優先整備地区の設定、整備手法の計画検討を実施 | ・駅前約3haを最優先整備地区と設定 ・個別意向調査(2回)及び全体意見交換会(1回)を実施した。 ・井戸端会議出席者への進捗報告を実施 ・街づくりへの意向調査結果として、対象地権者の約8割の方より合意を得た。 | ・測量及び調査を行い、事業計画の作成、アクセス道路等の基本設計を行った。 ・全体の意見交換会(計2回)や個別訪問を逐次行い、街づくりニュース(5回)を発行した。 | | | |
| | | | | | | 地下埋設物調査他 | 自転車駐車場の整備工事(駅前駐車場廃止に伴う新松戸駅西口第8自転車駐車場の先行整備) | 新松戸駅周辺の自転車駐車場のあり方を、地元と協議会の中で検討していく。 | | | | | |
| 【基本事務事業】放置自転車対策をします ●自転車駐車場管理運営事業 【成果・目標】 放置自転車数を減らします | ●自転車駐車場の整備 | 120 | 133 | 104 | ●自転車駐車場の整備 | 予定 | 新松戸駅前にてボーリング調査を実施した。 | 地元との協議を行い、新松戸駅西口第8自転車駐車場の供用開始及び、駅前第1～3の路上自転車駐車場の廃止・撤去を行った。 | 新松戸駅周辺の民間自転車駐車場設置について、鉄道事業者と調整中。 | 新松戸駅周辺の民間自転車駐車場設置について民間事業者と協議中 | 10 街づくり部 | 交通政策課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・既存施設の解体撤去工事を完了した。 ・(仮称)新松戸地域学校跡地有効活用施設の建設 | ・(仮称)新松戸地域学校跡地有効活用施設の建設(着工) | ・松戸市市民交流会館の建設(竣工) ・松戸市市民交流会館の管理運営 | 松戸市市民交流会館の愛称募集 | | | |
| | | | | | | ・既存施設の解体撤去工事を完了した。 ・(仮称)新松戸地域学校跡地有効活用施設建設に向けて契約締結を行った。 | ・(仮称)新松戸地域学校跡地有効活用施設の建設(着工) ・松戸市市民交流会館条例の制定 | ・松戸市市民交流会館の竣工 ・松戸市市民交流会館の管理運営 | ・松戸市市民交流会館の愛称決定(すまいる) ・松戸市市民交流会館の管理運営 | | | | |
| (六実・六高台地区) ●北千葉道を誘致し、松戸・鎌ヶ谷線の道路緩和を図ります。 | 【基本事務事業】幹線道路を連続させます ●広域幹線道路整備促進事業 【成果・目標】 北千葉道路の早期事業着手に向け要望活動を実施します | — | 129 | 106 | ●北千葉道路の整備促進 千葉県や、国及び地元選出国會議員に対し要望活動を実施します。 | 予定 | 要望活動の実施 | | | | 10 街づくり部 | 都市計画課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 要望活動を実施(2回)した。 | 要望活動を実施(3回)した。 | 要望活動を実施(4回)した。 | 要望活動を実施(3回)した。 (千葉県により都市計画手続きの着手) | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| (六実・六高台地区) ●六実駅周辺の街づくりを検討します。 | 【基本事務事業】 合理的な土地利用を進めます ●市街地整備事業 【成果・目標】 生活拠点として魅力ある空間を形成するため、商業機能の充実やアクセス改善などのまちづくりを進める | — | 115 | 107 | ●六実駅周辺のまちづくり 過年度に策定したまちづくりマスタープランの推進を図る。 東武野田線と東武松戸線が交差する踏切の歩道部の拡幅整備を要望する。 | 予定 | マスタープランの推進(地元の合意形成) | | | | 10 街づくり部 | 街づくり課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・地元組織である「六実再開発促進地区準備組合」との意見交換や講習会について支援を行った。 ・マスタープランに基づき、地元地権者に対し共同化や壁面後退に関するアンケート調査を実施した。 | ・地元組織である「六実再開発促進地区準備組合」の街づくりに関する知識や機運向上を支援した。 ・東武鉄道へ踏切道拡幅整備要望を実施した。 | ・地元組織である「六実再開発促進地区準備組合」の街づくりに関する機運向上を支援した。 ・千葉県とともに踏切道拡幅に係る地元調整を実施した。 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組NO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|---|--|------------|------------|--|---------------------------|---|--|---|--|----------------------|------------------------------|---------|--|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| (五香・元山地区) ●五香:桜通り、桜祭りを中心とした閑静でありながら且つ、活気あるまちづくりを行います。 ●元山:フード・ショッピング通りとして整備していきます。 (古ヶ崎・栄町地区) ●川のほとりで絵を描く人、楽器を奏でる人、そんな風景を楽しみに川辺歩きを楽しむ人、そんな街づくりに取り組めます。 (和名ヶ谷地区) ●スポーツセンター、ラドン温泉、東京病院を中心とした健康タウンとして整備していきます。 | 【基本事務事業】観光資源を活用します ●観光イベント支援事業 【成果・目標】 主要観光スポット観光客数を増やします | — | — | 108 | ●五香地区の活性化 | 予定 | 桜まつり補助金支給 | | | | 05 経済振興部 | 文化観光国際課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 桜まつり補助金を支給した。 | 桜まつり補助金を支給した。 | 桜まつり補助金を支給した。 | 桜まつり補助金を支給した。 | | | |
| | | | | | | 予定 | | | | | | | |
| 【基本事務事業】合理的な土地利用を進めます ●土地利用関連計画策定事業 【成果・目標】 都市や地域の将来あるべき姿や都市整備の基本的な方向性を示した都市計画マスタープランを策定します | — | — | 109 | ●元山地区の整備 ●古ヶ崎、栄町地区のまちづくり ●和名ヶ谷地区のまちづくり | 予定 | | | ●都市計画基礎調査の実施 | 都市計画基礎調査の解析 | 10 街づくり部 | 都市計画課 | 一部実施 | |
| | | | | | 進捗状況 | | | ●都市計画基礎調査の実施 平成28年度都市計画基礎調査業務委託 | ●都市計画基礎調査の解析 都市計画基礎調査解析業務委託 | | | | |
| | | | | | 予定 | | | | | | | | |
| 【基本事務事業】良好な都市景観を形成します ●都市景観推進事業 【成果・目標】 地区での景観づくりの活動が活発になります | — | — | 110 | ●地区での景観づくりの推進 市民・事業者と協働して、地区での景観づくりを進めます | 予定 | ●景観色彩計画の検討 地区景観色彩現況調査 ●計画づくりの検討支援 研修会の開催支援・アドバイザーの派遣 | ●景観色彩計画の検討 地区景観色彩計画調査 ●計画づくりの検討支援 研修会の開催支援・アドバイザーの派遣 | ●地区景観ルールづくりの検討 地区景観形成業務委託 ●計画づくりの検討支援 研修会の開催支援・アドバイザーの派遣 | ●地区景観ルールづくりの検討 地区景観形成業務委託 ●計画づくりの検討支援 研修会の開催支援・アドバイザーの派遣 | 10 街づくり部 | 都市計画課 | 実施 | |
| | | | | | 進捗状況 | ●景観色彩計画の検討 地区景観色彩現況調査1地区 ●計画づくりの検討支援 研修会(ハートナー講座)1回開催 10名参加 | ●景観色彩計画の検討 地区景観形成業務委託1地区 | ●先行事例として、新松戸、五香西等の3地区で景観協定を締結済(H26年度より) ●1地区で地区景観ルールを策定中 研修会の開催などを支援 (仮称)旧松戸宿・坂川地区(地区景観形成業務委託) | ●1地区で地区景観ルールを策定中 (仮称)旧松戸宿・坂川地区「風景サイン」デザインガイドライン(案)作成 ●景観形成推進協議会(1団体)の認定 ●研修会(現地視察)の支援(1回) | | | | |
| | | | | | 予定 | | | | | | | | |
| (高塚新田地区) ●国道拡幅工事の直売場確保対策として梨を中心とした道の駅建設を検討します。 | 【基本事務事業】幹線道路を連続させます ●広域幹線道路整備促進事業 【成果・目標】 北千葉道路の早期事業着手に向け要望活動を実施します | — | 129 | ●梨を中心とした道の駅建設の検討 道の駅建設の可能性について、第一にアクセス可能な広域的な幹線道路が必要となるため、北千葉道路の早期事業着手に向け要望活動を実施する。 | 予定 | 要望活動の実施 | | | | 10 街づくり部 | 都市計画課 | 実施 | |
| | | | | | 進捗状況 | 要望活動を実施した(2回) | 要望活動を実施した(3回) | 要望活動を実施した(4回) | 要望活動を実施(3回)した。 (千葉県により都市計画手続きの着手) | | | | |
| (北松戸・後台・松飛台工業団地地区) ●企業誘致予算を拡大し誘致に全力をあげます。 | 【基本事務事業】工業等の活性化を支援します ●企業誘致事業 【成果・目標】 工業団地へ新たな企業を誘致します | 96 | 101 | ●企業誘致の推進 | 予定 | 誘致活動の実施 | | | | 05 経済振興部 | 商工振興課 企業立地担当室 | 実施 | |
| | | | | | 進捗状況 | 産業振興アドバイザーを中心に誘致活動を実施した。 | 産業振興アドバイザーを中心に誘致活動を実施し、3件の新規工場等が操業を開始した。 | 産業振興アドバイザーを中心に誘致活動を実施し、2件の新規工場等が増設(再投資)を行った。 | 産業振興アドバイザーを中心に誘致活動を実施し、1件の新規工場が増設(再投資)を行った。 | | | | |
| (北松戸・後台・松飛台工業団地地区) ●農商工連携事業(野菜工場・養殖工場等)の誘致に取り組めます。 | 【基本事務事業】工業等の活性化を支援します ●企業誘致事業 【成果・目標】 工業団地へ新たな企業を誘致します | 96 | 101 | ●企業誘致の推進 | 予定 | 誘致活動の実施 | | | | 05 経済振興部 | 商工振興課 企業立地担当室 | 実施 | |
| | | | | | 進捗状況 | 産業振興アドバイザーを中心に誘致活動を実施した。 | 産業振興アドバイザーを中心に誘致活動を実施した。 | 産業振興アドバイザーを中心に誘致活動を実施した。 | 産業振興アドバイザーを中心に誘致活動を実施した。 | | | | |
| (栗ヶ沢地区) ●全日本クラスの大会が開催できるようにスタンドクラブハウスを整備しテニスタウンをつくります。 (オリンピック練習場指定をワーク) | 【基本事務事業】スポーツに親しむ環境を整備します ●栗ヶ沢公園等陸球場管理運営事業 【基本事務事業】社会・経済環境や市内部の情報を収集し、分析します ●オリンピック・パラリンピック検討事業 【成果・目標】 具体的な取組を整理します | 57,128 | 68,140 | 114 | ●テニスタウンの整備とオリンピック練習指定のワーク | 予定 | スポーツ施設整備に関する基本構想(仮)を基に検討 | スポーツ施設改修整備計画(仮称)の検討 | | 12 生涯学習部 02 総合政策部 | スポーツ課 東京オリンピック・パラリンピック推進課 | 一部実施 | |
| | | | | | | 進捗状況 | ●公共施設再編整備基本計画の策定開始に伴い、整合性を図るため、基本構想の見直しを行い、新たにスポーツ施設改修整備計画(仮称)を検討し、これに基づいて検討を進めることとした。 ●2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた取組基本方針の取りまとめを実施した。 | ●スポーツ施設改修整備計画の策定に向けた検討を進めた。 ●平成27年11月 2020年東京大会に向けた取組基本方針を決定。具体的な取組を推進する為の、推進行動計画の取りまとめを実施した。 | ●スポーツ施設改修整備計画の策定に向けた検討を進める中で、その前提となる基本方針を定めることとした。 ●昨年策定した基本方針に沿って具体的な取組を進めるために、「松戸市2020年東京オリンピック・パラリンピックやきシティおもてなし推進第1次行動計画」を策定した。 | | | | ●スポーツ基本方針(案)を策定し、その方向性に準じ、施設整備の計画を検討した。また、「松戸市スポーツ振興マスタープラン」の2021年改定に伴う当方針(案)も盛り込むことを検討した。 ●「松戸市2020年東京オリンピック・パラリンピックやきシティおもてなし推進第2次行動計画」を策定した。 |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|--|---|------------|------------|-----------|--|------|--|--|--|---|------------------------------|--|-------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| (北松戸地区) ●競輪場をオリンピック練習場指定になるようにワークします。 | 【基本事務事業】社会・経済環境や市内部の情報を収集し、分析します ●オリンピック・パラリンピック検討事業 【成果・目標】 具体的な取組みを整理します | 128 | 140 | 115 | ●競輪場のオリンピック勝致活動 東京オリンピック開催に伴い自転車競技は、トラック競技を含め4種目9競技が開催される予定となっている。このうち、トラック競技開催に向けた取組については、競輪中央団体等において、検討されると思われるが、具体的な方向性は示されていない。今後、競輪中央団体等の動向を注視し、可能な限り、トラック競技の練習場の勝致に取り組んでいきたい。 | 予定 | ・五輪組織委員会において競技会場の整備計画の見直し検討(予定) ↓ ・自転車競技の開催概要の見直し(未定) | ・五輪組織委員会において、静岡県修善寺の伊豆ベドロームを、自転車競技(トラック・レース)の競技会場とすることが決定 ・自転車競技の開催概要の見直し(未定) | 競輪中央団体等競技実施に向けた取組み検討(未定) | → | 05 経済振興部(上段) 02 総合政策部(下段) | 公営競技事務所(上段) 東京オリンピック・パラリンピック推進課(下段) | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 競輪業界全体で取り組んでいく方針であるが、現状では中央団体での動きがない。このため、今後も中央団体の動向に注視しながら取り組んでいく予定である。 | 中央団体や千葉県や千葉県自転車競技連盟の動きを注視しつつ、松戸競輪場を所有する松戸公産株式会社と事前キャンプ受け入れに関する意見交換を2回行った。 | ・千葉県の松戸競輪場視察 ・千葉県と事前キャンプ勝致に係る協議を行った。 | → | | | |
| | | | | | | 予定 | 市(東京オリンピック・パラリンピック)取組み基本方針作成 | 関係団体との調整 | → | | | | |
| | | | | | | 進捗状況 | 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた取組み基本方針の取りまとめを実施した。 | 平成27年11月 2020年東京大会に向けた取組み基本方針を決定。東京大会組織委員会が発行する、事前キャンプ候補地ガイドに競輪場の掲載手続き完了。(平成28年夏、公開予定) | ・「松戸市2020年東京オリンピック・パラリンピックやサテライトおもてなし推進第1次行動計画」を策定。 ・千葉県を通じて、オランダとの間で、松戸競輪場での自転車(トラック)競技事前キャンプ実施に係る基本合意を得る。 | ・「松戸市2020年東京オリンピック・パラリンピックやサテライトおもてなし推進第2次行動計画」を策定。 ・千葉県を通じて、オランダから「事前キャンプは伊豆ベドロームを使用したい」旨の意向が示されたが、まだ実施する可能性があるため、動向を見守る。 | | | |
| (南部市場地区) ●クリーンでお客様の立ち位置がわかるニュー市場へリニューアル | 【基本事務事業】市場を活性化します ●市場施設管理事業 【成果・目標】 公設市場の民営化により、効率的で自由な民営市場を実現し、活性化を図ります | 97 | 102 | 117 | ●市場関係者と協議を進め、市場のあり方を作成する。 | 予定 | 民営化に向け、共通理解を図るため、勉強会等を市、施設会社、卸売会社、仲卸会社の4者で開催 | 民営化を含め、市場の現状について共通理解を図るため、市役所内の関係部署による勉強会を開催する | 北部市場の廃止に伴い、南部市場への影響が考えられ、1市場となる南部市場を活性化させるため、市場関係者である卸売業者、仲卸業者、買受人組合、施設会社、市の5者と一緒に、協議会等を立ち上げ、活性化策等について、協議を実施する。 | 市場関係者である卸売業者、仲卸業者、買受人組合、施設会社、市の5者による協議会等で活性化策等の協議とともに、民営化に向けての協議を実施する。 | 05 経済振興部 | 消費生活課 | 検討・準備 |
| | | | | | | 進捗状況 | 民営化に向け、市場関係者の共通理解を図るために、民営化を実施した市場への視察等、調査研究を実施した。 | 庁内関係課での市場民営化に関する協議会を立ち上げるとともに市場関係者での検討会を立ち上げるための準備を実施した。庁内関係課での協議会1回 南部市場施設会社との打合せ5回 | 北部市場については、県の第10次千葉県卸売市場整備計画において、柏市場を地域拠点市場として位置づける上で、平成28年度をもって廃止し、柏市場と北部市場と統合するように定めることとした。平成28年度は、11月に南部市場の施設会社より、市場施設の耐震性がかなり低いと報告された。それによって、市場関係者らと耐震化へ向けた協議を行ったが、前進する内容の協議が得られなかった。 | 施設の耐震性に問題があることが判明したことにより、施設会社と協議を行ってきた。今後、市場関係者と合意の上、方針を決定していく。なお、耐震補強後安定した運営が確保され次第、民営化に向けた協議を再開する。 | | | |
| (幸田、殿平貫・小金地区) ●縄文、戦国時代の名所旧跡を観光ゾーンとして再整備します。 | 【基本事務事業】観光資源を活用します ●観光促進事業 【成果・目標】 主要観光スポット観光客数を増やします | 102 | 108 | 118 | ●名所旧跡を観光ゾーンに整備 | 予定 | 小金観光案内版の設置 | 小金案内版設置 学生観光サポーターによる観光ツアー企画造成 | 学生観光サポーターによる観光ツアー企画造成と商品化 | 学生観光サポーターによる観光ツアー企画造成と商品化 | 05 経済振興部 | 文化観光国際課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | H25設置の反対側の案内版設置を予算化を行った。 H25に設置した反対側の案内版設置について予算措置を行った。 | H25設置の反対側に設置した観光案内版の予算措置を行った。 学生観光サポーターによる観光ツアー企画造成(平成27年度12回開催) | H27年度に観光案内版は設置完了。 学生観光サポーター養成講座を13回開催し、観光ツアーの企画開発を検討した。 | 学生観光サポーター養成講座を9回開催し、観光ツアーの企画開発を検討した。 | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|---|--|------------|------------|-----------|--------------------------------|------|--|---|---|--|----------|-------|----|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| 7 夢に立ちほかかる阻害要因の排除 | | | | | | | | | | | | | |
| 7-(1)災害への対応 | | | | | | | | | | | | | |
| ●大震災を想定した学区・自治会・連合町会単位の避難訓練の充実 ●この4年間実施してきた政策を更に強化 | 【基本事務事業】地域防災活動を活性化させます ●防災組織強化事業 【成果・目標】 総合防災訓練への対象団体への参加率を高めます 自主防災組織の訓練実施率を高めます | 64 | 78 | 119 | ●地域が一体となった防災訓練の充実 ●災害への対応強化 | 予定 | 松戸市総合防災訓練における避難所開設・運営訓練に住民が参加し、市の職員・学校・地域住民等が一体となった防災訓練を実施する。 平成26年度の避難所開設・運営訓練実施施設数: 5箇所(予定) | 平成27年度までの避難所開設・運営訓練実施施設数: 31箇所程度(目標) | 平成28年度までの避難所開設・運営訓練実施施設数: 50箇所程度(目標) | 平成29年度までの避難所開設・運営訓練実施施設数: 65箇所(全市立小中学校)(目標) | 01 総務部 | 危機管理課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 平成26年度の避難所開設・運営訓練実施施設数: 11箇所 | 平成27年度の避難所開設・運営訓練実施施設数: 21箇所 | 平成28年度の避難所開設・運営訓練実施施設数: 34箇所 | 平成29年度の避難所開設・運営訓練実施施設数: 47箇所 | | | |
| ●学校の耐震工事は27年度で完了 | 【基本事務事業】施設、設備を整備します ●小学校大規模改修耐震改修事業 ●中学校大規模改修耐震改修事業 【成果・目標】 学校の耐震化工事を完了させます | 47 | — | 120 | ●学校の耐震工事の完了 | 予定 | 小学校16校、中学校5校の工事を実施。 年度末での小中学校耐震化率 88.9% | 文科科学省の示した指針通り、市の市有建築物耐震化整備プログラムに基づき対策の必要な校舎の耐震化を完了 年度末での中学校耐震化率 100% | | | 12 生涯学習部 | 教育施設課 | 完了 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・小学校16校、中学校5校の耐震工事を実施。 ・3月末の耐震化率は88.3% | ・小学校18校、中学校8校の耐震工事を実施。 ・予定されていた耐震化工事が全て完了し、耐震化率は100%となる。 | | | | | |
| 夢に立ちほかかる阻害要因の排除 | | | | | | | | | | | | | |
| 7-(2)犯罪への対応 | | | | | | | | | | | | | |
| ●官民協働の市民参加型防犯カメラの1000台設置を目指します。 ●この4年間実施してきた政策を更に強化していきます。 | 【基本事務事業】防犯活動を支援します ●地域ぐるみ安全安心推進事業 【成果・目標】 刑法犯罪認知件数(対1千人)を減らします 街頭防犯ネットワークカメラを設置します | 83 | 91 | 121 | ●市民参加型防犯カメラの設置推進 ●犯罪への対応強化 | 予定 | 平成25年度より目標値5年間で1,000台としている。 ・平成26年度 160台設置 ・設置総数 163台 | ・平成27年度 299台設置 ・設置総数 400台 | ・平成28年度 300台設置 ・設置総数 700台 | ・平成29年度 300台設置 ・設置総数 1000台 | 04 市民部 | 市民安全課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・カメラの設置推進を図った。 ・90台設置 ・設置総数95台 | ・カメラの設置補助金を新設し、設置の推進を図った。 ・49台設置 ・設置総数144台 | ・カメラの設置推進を図った。 ・15台設置 ・設置総数159台 | 第6次実施計画において、市設置型・市民参加街頭防犯カメラを併せて500台設置することとした。市民参加型街頭防犯カメラ事業補助金額の見直しを図った。 ・市設置型総数 192台 ・市民参加型総数 229台 ・総数 421台 | | | |
| ●防犯灯不足地区への防犯灯の設置を推進します。 | 【基本事務事業】防犯活動を支援します ●防犯灯整備事業 【成果・目標】 LED防犯灯の割合を高めます | 82 | — | 122 | ●防犯灯の増設 | 予定 | ・町会・自治会への説明、防犯灯のLED化の推進 ・平成25年度の全防犯灯数: 36,112灯 | ・防犯灯LED化リース事業等により、平成27年度中に、LED化されていない防犯灯約31,000灯をLED防犯灯に交換し、全面LED化を図る。 | ・既設のLED防犯灯について、町会・自治会等、リース事業者と連携し、維持管理を継続する。LED防犯灯の新設・更新にあたり、設置費補助金の活用により、設置を進める。 | | 04 市民部 | 市民自治課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ・LED防犯灯を400灯設置した。 ・平成24～26年度に設置したLED防犯灯総数: 5,220灯 | ・LED防犯灯を30,343灯設置した。 設置費補助金 301灯 リース方式 30,042灯 合計 30,343灯 | ・LED防犯灯を185灯設置した。 設置費補助金 185灯 | ・LED防犯灯を228灯設置した。 設置費補助金 228灯 | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組NO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|---|---|------------|------------|----------|---|------|--|---|--|---|------------------|------------------|----|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| 夢に立ちほだかる阻害要因の排除 7-(3)基金確保への対応 | | | | | | | | | | | | | |
| ●松戸の活性化により税収のアップ。 | 【基本事務事業】社会・経済環境や市内部の情報を収集し、分析します ●後期基本計画推進事業 【成果・目標】 後期基本計画のめざそう値の達成率を高めます | 129 | 143 | 123 | ●後期基本計画の着実な推進 地域産業を活性化させ、街の賑わいを取り戻し、雇用機会の拡大を図ることで、子育て世代の転入を促進させるとともに、市税の増収につなげます | 予定 | 第4次実施計画の実績報告 第5次実施計画の推進 | 第5次実施計画の継続実施 第6次実施計画策定作業 | 第5次実施計画の継続実施 第6次実施計画策定作業 | 第5次実施計画の実績報告 第6次実施計画の推進 | 02 総合政策部 | 政策推進課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 第4次実施計画の実績報告作成、公表した。 第5次実施計画の進捗状況を把握するための調査作成 | ●第5次実施計画の進捗状況の把握 ●第6次実施計画及び総合戦略の策定方針の作成 ●第6次実施計画の策定に向けた職員研修会の実施 ●市民意識調査の実施(広報広聴課) ●松戸の強みと弱みを考えるデータ集の作成 ●第6次実施計画たたき台の作成 | ●第6次実施計画案の作成 ●計画期間中の財源推計(財政課と連携) ●パブリックコメントの実施 ●第6次実施計画の策定・印刷製本 ●実施計画運用等に係る職員研修の実施 | ●第5次実施計画の実績報告書の作成・公表 ●第6次実施計画進捗状況の把握 | | | |
| ●徹底した無駄排除により市の経費を大幅に削減。 ●これまでの4年間は基金積み上げ期間、これからの4年間は投資期間と位置づけしますが投資効果判断と徹底的なコスト削減にて実施していきます。 | 【基本事務事業】社会・経済環境や市内部の情報を収集し、分析します ●サマーレビュー推進事業 【成果・目標】 政策、財政、行革を一体として推進します | 126 | — | 124 | ●サマーレビューの検討、推進 政策、財政、行革を一体としたサマーレビューを実施し、大規模事業を把握しながら、戦略的に行政運営を行う。 | 予定 | サマーレビューの手法を検討 サマーレビューの推進 大規模事業の把握 | 大規模事業を含めた市政の重要課題に関する進捗状況の把握・推進 | | | 01 総務部 03 財政部 | 行政経営課 財政課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ●サマーレビューのあり方について、今後の方向性を検討した。 ●大規模事業の把握を実施した。 | 大規模事業を含めた市政の重要課題に関する進捗状況の把握・推進を実施した。 | 大規模事業を含めた市政の重要課題に関する進捗状況の把握・推進を実施した。 | 大規模事業を含めた市政の重要課題に関する進捗状況の把握・推進を実施した。 | | | |
| ●税滞納者の方にもご協力をお願いします。 | 【基本事務事業】債権を管理及び確保し、歳入の安定化と徴収の公平を図ります ●債権管理事業 【成果・目標】 滞納繰越債権を減らします | 142 | 148 | 125 | ●関係部署と連携し、市の滞納繰越債権の完全徴収一元化を図ります。 | 予定 | 滞納保育料の完全一元徴収の実施 | 完全一元徴収する債権を拡大 | 滞納市税の完全移管 ●債権所管課の徴収意識の高揚を図る ●関係部署と連携して、現年度徴収の徹底、徴収不能者整理 ●債権管理事務の指導強化 | ●債権所管課との移管ルールの整備 | 03 財務部 | 債権管理課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 滞納保育料の完全一元徴収実施完了 移管済滞納保育料 41,831,194円 移管済滞納保育料徴収金額 31,023,040円 | 債権所管課との連携を強化した。 移管件数:817件 徴収実績:432,888,411円 | 所管業務として滞納市税の完全移管を終了 債権管理事務の指導を強化し、債権所管課の徴収意識の高揚を図った。 移管件数:333件 徴収実績:303,856,220円 | 債権所管課との連携強化、移管連携会議の開催、債権管理事務の指導により、移管対象の縮減を図った。 移管件数:183件 徴収実績:183,173,975円 | | | |
| ●民間からの募金を集めます。 | 【基本事務事業】基本的な職務の遂行方法を定義します ●寄附採納事業 【成果・目標】 寄附件数を増やします | 135 | 146 | 126 | ●寄附しやすい仕組みづくり | 予定 | 本市の寄附に関する基本的な考え方を広め、また、新たな採納方法を検討。 | | 新たな採納方法の検討に加え、拡充した「ふるさと納税制度」の取り組みを検討。 | | 01 総務部 | 総務課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 寄附の考え方やメニュー等を市ホームページにて周知した。また、ゆうちょ銀行での払込を準備した。(H27.4.1～開始) | 寄附の考え方やメニュー等を市ホームページにて周知した。また、ゆうちょ銀行での払込を開始した。新たな採納方法と記念品の導入を目指し準備した。 | インターネットからの寄附申込を可能にし、クレジットカードによる採納を整備した(H28.6.1～)。市外在住の個人の寄附者に記念品の贈呈を開始した(H28.8.1～) | 平成28年度から開始した、ふるさと納税制度の内容を充実させ、多くの市外在住の個人の方からの寄附を募る。 【市外在住個人寄附実績】 486件 9,453,000円 | | | |
| ●不正な生活保護受給者にメスを入れます。 | 【基本事務事業】困窮時、災害者の生活を支援します ●生活保護決定・実施事業 【成果・目標】 不正受給件数を減らします | 22 | — | 127 | ●生活保護の不正受給防止 | 予定 | ●警察退職者の採用(増員) ●不正受給防止専従チームの立ち上げ ●不正受給防止専従チームの活動推進 ●悪質事例のマスコミ公表による抑止効果の発揮 | ●警察退職者の採用(継続) ●専従の正規職員を配置し、調査範囲を拡大 ●不正受給防止専従チームの活動推進 ●悪質事例のマスコミ公表による抑止効果の発揮 | | | 08 福祉長寿部 | 生活支援一課 生活支援二課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | ●警察退職者を3名採用し増員した。 ●不正受給防止専従チーム(4名体制)を立ち上げ、不正受給の調査体制を強化した。 ●不正受給防止専従チームが11件の調査をした結果、6件の不正受給が発覚し、以下の対応を実施(※件数は延べ) ●法78条徴収金決定(2件 1,777,979円) ●生活保護の廃止(3件) ●法27条指導指示(3件) ●刑事告訴(1件) | ●警察退職者3名を継続採用 ●マスコミ公表0件 ●19件の調査依頼、15件の不正受給が発覚(内1件は平成26年度からの継続。以下対応内容(延べ件数)) ●法78条徴収決定(7件 10,613,068円) ●生活保護の廃止4件(内1件は世帯員削除) ●法27条指導指示5件 ●刑事告訴0件 | ●警察退職者3名を継続採用 ●マスコミ公表0件 ●39件の調査依頼(内7件過年)、16件の不正受給が発覚(内3件は平成27年度からの継続。以下対応内容(延べ件数)) ●法78条徴収決定(16件 20,121,794円) ●生活保護の廃止6件 ●法27条指導指示4件 ●刑事告訴1件 | ●警察退職者3名を継続採用 ●マスコミ公表0件 ●32件の調査依頼(内14件過年)、13件の不正受給が発覚(内4件は平成28年度からの継続。以下対応内容(延べ件数)) ●法78条徴収決定(10件 20,032,186円) ●生活保護の廃止6件 ●法27条指導指示4件 ●刑事告訴0件 | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|--|---|------------|------------|-----------|-----------------------|-------------------|---|--|--|---|----------|-------|------|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| 8 夢を応援する市役所改革 | | | | | | | | | | | | | |
| ●全職員を対象に接客訓練を実施し、市民接点満足度をアップさせます。 | 【基本事務事業】人材を管理し、その育成を図ります ●人材育成事業 【成果・目標】 職員のマネジメント能力、対人能力を向上させます | 132 | 145 | 128 | ●全職員を対象とした接客訓練の実施 | 研修の実施 予定 | | | | | 01 総務部 | 人事課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 継続して接客関連研修を実施 ・随時臨時職員を対象に接客研修を実施 ・新規採用職員を対象に接客研修を実施 ・全職員を対象(公募)としてクレーム対応研修を実施 ・採用2年目から6年目の職員を対象に、接客・対応レベルアップ研修を実施 ・新規採用職員に対する接客研修を実施する接客リーダーを対象に接客指導者養成研修を実施 | 継続して接客関連研修を実施 ・主査級職員を対象に接客向上研修を実施 ・新規採用職員を対象に接客研修を実施 ・全職員を対象(公募)としてクレーム対応研修を実施 ・臨時職員も含めた全職員を対象とした接客マニュアル改訂のため、接客マニュアル作成研修を実施 ・新規採用職員に対する接客研修を実施する接客リーダーを対象に接客指導者養成研修を実施 | 継続して接客関連研修を実施 ・主査級職員を対象に接客向上研修を実施 ・新規採用職員を対象に接客研修を実施 ・全職員を対象(公募)としてクレーム対応研修を実施 ・新規採用職員に対する接客研修を実施する接客リーダーを対象に接客指導者養成研修を実施 ・各所属の接客向上担当者を対象に研修を実施し、市役所全体で接客向上の取組を喚起するため、各所属で職場研修を実施 | 継続して接客関連研修を実施 ・新規採用職員を対象に接客研修を実施 ・全職員を対象(公募)としてクレーム対応研修を実施 ・新規採用職員に対する接客研修を実施する接客リーダーを対象に接客指導者養成研修を実施 ・各所属の接客向上担当者を対象に研修を実施し、市役所全体で接客向上の取組を喚起するため、各所属で職場研修を実施 | | | |
| 9 本郷谷けんじの夢:使命 | | | | | | | | | | | | | |
| ●松戸市民とのコミュニケーションを密にしていきます。 ・広報まつどを市役所からお知らせを中心とした「市役所版」と市民からのお知らせを中心とした「市民版」の2種を隔月に分けて発行していきます。 | 【基本事務事業】情報提供を推進します ●広報紙誌発行事業 【成果・目標】 市民版の広報誌を発行します | — | — | 129 | ●広報まつどの市役所版と市民版の発行 | 広報まつど市民活動特集 予定 | | | | | 02 総合政策部 | 広報広聴課 | 一部実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 広報まつど市民活動特集を年2回折り込みで発行した。(9/15・3/1) | 広報まつど市民活動特集を年2回折り込みで発行した。(9/15・3/1) | 広報まつど市民活動特集を年2回折り込みで発行した。(9/15・3/1) | 広報まつど市民活動特集を年4回折り込みで発行した。(7/1・9/15・12/15・3/1) | | | |
| | | | | | | 予定 | 市民記者制度の発足・実施(シティプロモーション推進事業) | 市民記者制度(シティプロモーション推進事業)の検証 | 市民版の編集方法等の検討 | 市民版の発行 | | | |
| | | | | | | 進捗状況 | 応募受理人数17名、登録市民記者数14名で発足し、年度末時点で、市民記者が作成した記事11本を公開した。 | 広報まつど市民版の発行に向けて、市民記者制度の検証を実施した | 広報まつど市民版の発行に向けて、編集方法の検証を実施した。 | 広報まつど市民版の発行に向けて、編集方法の検証を実施した。 | | | |
| ●ホームページは国際化に向け英語版・中国語版以外にも多言語用意します。 | 【基本事務事業】情報提供を推進します ●電子広報事業 【成果・目標】 情報や知識を共有するための仕組みを増やします | 131 | — | 130 | ●国際化に向けてホームページに多言語を用意 | 予定 | 市公式ホームページを多言語に自動翻訳する仕組みを導入 | 他の言語(スペイン語・ポルトガル語等)の市ホームページ自動翻訳を検討 | 他の言語(スペイン語・ポルトガル語等)の市ホームページ自動翻訳を検討 | 他の言語の市ホームページ自動翻訳を検討 | 02 総合政策部 | 広報広聴課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 市公式ホームページを英語・中文・韓国語に自動翻訳する仕組みを導入した。 | 市公式ホームページを英語・中文・韓国語に自動翻訳する仕組みを導入済み。 | 市公式ホームページの自動翻訳対応言語に、従来の英語・中国語・韓国語に加え、スペイン語とポルトガル語を新たに導入し、5カ国語に拡大。 | 市公式ホームページを英語・中文・韓国語・スペイン語・ポルトガル語に自動翻訳する仕組みを導入済み。 | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|---|--|------------|------------|-----------|---|------|---|--|--|---|----------|---------------------------|----|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| 10 その他 | | | | | | | | | | | | | |
| ●不良債権(含み損50億)を抱える土地開発公社を解散し、計画的な負債処理を目指します。 | 【基本事務事業】公有財産を適正に管理し、有効な利用を図ります ●土地開発公社検討事業 【成果・目標】 土地開発公社が保有する用地の処分・活用計画を策定します | 147 | — | 131 | ●土地開発公社のあり方の検討 現在土地開発公社が保有する5箇所の用地について具体的な活用と解散に向けての検討を行う。 | 予定 | 公社保有地の有効活用検討 | 公社保有地の有効活用ならびに公社解散について検討 | 公社を解散・清算させる | | 10 街づくり部 | 都市計画課 (行政経営課) (財政課) | 完了 |
| ●子育て世代をターゲットとしたシティプロモーション(松戸市のPR)を開始します。 | 【基本事務事業】情報提供を推進します ●シティプロモーション推進事業 【成果・目標】 市の良さや魅力を高める情報の発信件数やメディアに掲載された市の情報の件数を増やします | 130 | 144 | 132 | ●シティプロモーション活動の推進 | 予定 | 情報共創型「まっどやさしい暮らしラボ」プロモーション活動の実施 | | | | | | |
| | | | | | | 進捗状況 | 市民が情報を創り発信する仕組みの検討・運用・サポート、新コンテンツの検討・実施。次年度の活動内容(PR誌制作・市民参加型の会議の実施など)を検討した。 | 松戸駅周辺で市民メンバーと「やさしい暮らしインタビュー」を2回実施。997人から回答を得た。そこで聞いた市民の声をもち、松戸市をPRする情報マガジン「松戸やさしい暮らしガイド」を作成した。 | 松戸市をPRする情報マガジン「松戸やさしい暮らしガイド」を市内施設及び都内・県内近隣の駅や「イザラズ・ファミレス等」やイベントブースで配布・PRした。 | 今後のシティプロモーション事業に活用するため、松戸まつり、モリヒロフェスタで「松戸のやさしさ」についてのアンケートを実施。 | | | |
| | | | | | | 予定 | 市民記者「まっどライターズクラブ」の発足および情報発信 | 市民記者「まっどライターズクラブ」およびまっど好きな人たちが集まるファンクラブ「まっどやさしい暮らしPR部」の情報発信 | | | | | |
| | | | | | | 進捗状況 | 応募受理人数17名、登録市民記者数14名で発足。年度末時点で、市民記者が作成した記事11本を公開した。 | 市民記者9名を追加し=計20名に。研修4回実施。市民記者作成の記事34本を公開した。 | ラボの公式ホームページやFBで市民記者や市民と一緒に情報発信(記事とお知らせ29本、FB431本) | ラボの公式ホームページやFBで市民記者や市民と一緒に情報発信(記事とお知らせ70本、FB166本) | | | |
| | | | | | | 予定 | 新コンテンツの検討・実施 | ごちそうぼうさいの実施 | | | | | |
| | | | | | | 進捗状況 | ラボのプロジェクトメンバー(市民)9名とともに、1/16の市の防災講演会と同日開催で「ごちそうぼうさい」を開催。市民46名が参加。暮らしをテーマとした新しい市の取り組みとしてPR活動としての効果も高かった。 | 「松戸まちづくり会議」と連携し、「防災フェス2016」を開催。第1部はラボによる「ごちそうぼうさい」、第2部は松戸まちづくり会議による「HUGゲーム」。市民76名が参加。19歳以下の参加者が約40%となり、ファミリーや子どもたちの参加が大幅に増えた。 | 子育てファミリーが急増中の東松戸のコミュニティスペース「ひがまつタウンカフェ」と連携し、「カフェめし&ぼうさい」と名称を変更して開催。市民61名、小さなお子さんを連れたファミリーが参加した。 | 外かん開通などで話題の矢切地区においてワークショップ「YAKIRIなう」を開催。小中学生を中心に市民43名が参加した。 | | | |
| | | | | | | 予定 | 松戸の魅力や暮らしやすさ(やさしい暮らし)を象徴する中長期的な取り組み(シンボルアクション)の検討 | まっどやさしい暮らしを象徴するような中長期プログラムの検討 | | | | | |
| | | | | | | 進捗状況 | 中長期的な取り組みの検討に向けた庁内ヒアリングを実施した。 | 地域のつながりなど暮らしの大切さに参加者が気づく「ごちそうぼうさい」を、市内各地域の暮らしの中に落としこむ作業を実施。第1弾として、松戸まちづくり会議と連携して実施。次年度以降、市内別の地域での実施に向けた話し合いを行った。 | 市内外の多くの人が松戸の良さや暮らしやすさ(=やさしい暮らし)に気づく・考えるきっかけとなる取り組みとして、松戸をPRする動画CMを市内外から公募した「まっどCM大賞」を実施。市内外から96作品の応募があり、募集告知や審査結果などが新聞記事となった。大賞作品を渋谷駅前大型ビジョンで放映し、松戸市をPRした。 | 市外の多くの人が松戸の魅力や暮らしやすさ(=やさしい暮らし)に気づく・考えるきっかけとなるよう、昨年度公募した「まっどCM大賞」の公募作品を火花大会やモリヒロフェスタの告知とあわせて、新宿アルタビジョンで放映し、松戸市をPRした。 | | | |
| | | | | | | 予定 | PR活動の実施 | 市が取り組む各種事業のメディアを活用したプロモーション活動 | | | | | |
| | | | | | | 進捗状況 | 以下のPR活動を実施した。 ・情報発信件数154件 ・メディアに掲載された件数78件 ・広告換算額(掲載メディアに同等の広告を出稿した場合の料金を算出)4,206万2,371円 | ・インターネットプレスリリースの配信を開始。配信総数44件、記事掲載数1,445媒体、閲覧数49,599件、広告換算額約1億887万円。 ・ベイエフエムラジオで松戸市の番組を開始。「子どもが元気に育つ街・松戸市」をテーマに、市民の皆さんもゲストとして登場して、本市の魅力や暮らしやすさ、子育てのしやすさを発信。 ・都内駅のデジタルサイネージや東京メトロ千代田線車内で、市内ファミリーの写真を利用して、やさしい街・松戸をPR。 | 市内外の多くの人が松戸の良さや暮らしやすさ(=やさしい暮らし)に気づく・考えるきっかけとなる取り組みとして、松戸をPRする動画CMを市内外から公募した「まっどCM大賞」を実施。市内外から96作品の応募があり、募集告知や審査結果などが新聞記事となった。大賞作品を渋谷駅前大型ビジョンで放映し、松戸市をPRした。 | ・市外の多くの人が松戸の魅力や暮らしやすさ(=やさしい暮らし)に気づく・考えるきっかけとなるよう、昨年度公募した「まっどCM大賞」の公募作品を火花大会やモリヒロフェスタの告知とあわせて、新宿アルタビジョンで放映し、松戸市をPRした。 ・PR専門事業者がメディアに直接働きかけることにより、テレビなどで40件を超える無料露出を獲得し、松戸市の魅力情報を首都圏を中心に全国にPRした。 | | | |

平成26年市長選挙で市長が掲げた項目に対する市の取り組み(平成29年度実績)

| 市長選挙で市長が掲げた項目 | 市の政策目的体系上の「●事務事業」 【成果・目標】 観光資源を活用します | 第5次実施計画No. | 第6次実施計画No. | 具体的な取組みNO | ●具体的な取組み | 工 程 | | | | 部 | 担当課 | 実施レベル | |
|--|---|------------|------------|-----------|--|------|---|--|---|--|----------|---------|----|
| | | | | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| ●若手による「アーティスト・レジデンス」事業「ポップカルチャー」等各種文化活動を支援します。 | 【基本事務事業】観光資源を活用します ●文化の香りのする街構築事業 【成果・目標】 観光資源を活用します | 103 | 109 | 133 | ●ポップカルチャー等の各種文化活動の支援 | 予定 | ジャパン・ポップカルチャー・イベントの実施(実施予定) | 試験実施 ジャパン・ポップカルチャー・イベントの実施 | 事業検証 | 事業化 | 05 経済振興部 | 文化観光国際課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 21世紀の森と広場を中心に、アニメソング・アイドルコンサート、コスプレイベントのコラボレーションイベントを開催した。2日全体で13000人を超える来場があり、日本テレビ等のメディアで取り上げられた。 | 21世紀の森と広場において、お笑いイベントとフードコートが合体した「光と風のマルシェ」を開催し、森のホール21では「アニメソングイチャバン!!」というアニメソングの声優によるコンサートを行った。合わせて12,000人が参加した。 | 森のホール21で松戸市出身bamboo氏の総合プロデュースによるアニソンコンサートを開催した。コスプレイベント(8月流鉄、ラストサマー、10月伊勢丹ハロウィン、12月流鉄、3月河津桜)の5回開催し計約2,000人参加した。 | 森のホール21で、デーモン閣下の夜会(歌と朗読のライブ)と、アニソンコンサートを実施し2,260人が参加した。市内各所で計6回開催したコスプレイベントに2,664人が参加、伊勢丹松戸店で実施した松戸ハロウィンフェスティバルには500人が参加した。 | | | |
| ●創造性あふれる松戸駅前エリアの環境形成を目指す「暮らしの芸術都市」政策を進めます。 | 【基本事務事業】観光資源を活用します ●文化の香りのする街構築事業 【成果・目標】 観光資源を活用します | 103 | 109 | 134 | ●松戸駅前エリアの暮らしの芸術都市 アーティスト・レジデンス等の各種文化活動の支援 | 予定 | アーティスト・レジデンス等の各種文化活動の支援 | 滞在アーティストの拡充に向けて、地域による取り組みから発展させ、これまで運営に携わった若手によるアート専門の組織の立ち上げを準備する。 | 若手によるアート専門の一般社団法人「PAIR」による運営開始 日本最大のアーティスト・イン・レジデンスの施設創設 | 日本最大級のアーティスト・イン・レジデンスの施設運営 | 05 経済振興部 | 文化観光国際課 | 実施 |
| | | | | | | 進捗状況 | 松戸まちづくり会議がH25松戸駅西口のビル4階フロアを活用し、芸術家の国際的な滞在施設「パライス」を創設した。H26年度は、ロングステイ・プログラムに対し253組の応募があった。(H25の約4倍) | ショートステイプログラムは12組のアーティストが滞在し、ロングステイプログラムは251組の応募があった。(ほぼ昨年度同)同時並行で専門運営組織の立ち上げ準備を行った。 | 一般社団法人PAIRを設立し、43組のアーティストの滞在制作を支援した。ロングステイプログラムでは世界66カ国296組の応募があった。 | 約3週間の滞在制作を支援するショートステイプログラムで45組のアーティストが滞在、ロングステイプログラムでは、世界92カ国614組の応募があり、その中から2組が滞在した。また、これまでの活動プロセスや成果を記録・公開するカタログ冊子を1,000部発行した。 | | | |